中国語で誤解しないように（第１０１回）
「出世」

日本語に「立身出世」という言葉があり、サラリーマンは企業に就職した日から立身出世を目指して努力しています。このように日本語の「出世」は一般的に世の中へ出て立派な地位や身分になることを意味しています。元来「出世」は仏語でいろいろな仏様が衆生済度の為に世界へ出現することを意味していますが、仏語の中に修養を積んだ僧が高い位の寺院へ移るとの意味もあり、これが転じて一般的に地位や身分が上がって偉くなる意味が生じたものと思います。中国語では地位や身分が上がって偉くなることを『出息』、『发迹』或いは『提升』で表現します。

用例としては「立身出世する」が『出息发迹』であり、「出世が早い」が『发迹得快』或いは『提升得快』、「あんな風では出世が出来ない」が『那样样子、不会有出息』、「今回の事件は彼の出世の妨げになるだろう」が『这次的事将会妨碍他的提升」、「彼はその才能と勤勉によって数年足らずでたいへんな出世を遂げた」が、『他凭着他的才能和勤奋、不到几年就飞黄腾达了』があります。また日本語には「出世頭」とか「出世魚」という言葉がありますが、中国語にはそれに見合う言葉がありません。、「彼は大学同期の中では出世頭だ」は『他在大学的同学里最有出息的』となり、また「出世魚」は『随着不同生长时期而变换名称的魚』と説明するしかないでしょう。

一方中国語の『出世』は仏語の意味がそのまま活かされて「この世に生れる」との意味です。またそれが転じて「産出する」との意味もあります。「この世に生まれる」の用例は、「生まれたばかりの子」が『刚刚出世的孩子』、「ある嵐の夜に彼はこの世に生を受けた」が『在一个暴风骤雨的夜晚、他出世的』であり、他方「産出する」の使われ方は主に社会制度などの抽象的な場合にのみ使われ、「旧制度はやがて滅び、新制度が間もなく生まれ様としている」が『旧制度将灭亡、新制度要出世了』と表現されます。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１０２回）
「看病」

日本語で「看病」というと、病気をした人を看護するとの意味ですが、中国語の『看病』はその字の「病（やまい）を看る」の通り「診察する」「治療する」或いは「診察を受ける」「治療を受ける」との意味です。従って日本語の「看病」は中国語で『看护病人』或いは『护理病人』となります。用例としては「私は心を込めて夫の看病をした」が『我用心看护了我的丈夫』、「私は手厚い看病を受けた」が『我得到

了精心护理』、「寝ずに病人の看病をした」が『彻夜不眠地护理病人』となります。

中国語の『看病』の用例としては、『李医生的看病很认真（李先生はたいへん丁寧に診察してくれる）』、『他发热得很厉害、得马上请大夫来看病（彼はひどく発熱しているので、直ぐに医者を呼んで診察して貰わねばならない）』、『我到医院去看病了（私は病院へ行って診察を受けた）』、『王大夫給人看病去了（王先生は往診に出かけた）』があります。また「近ごろ元気がないね、医者に診て貰った方がいいんじゃないか」は『你最近总是那么没精神、是不是应该去看看病』と表現します。「看病」という意味が日本語と中国語では全く異なることを説明しました。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１０３回）
「本家」

「本家」について日本語で「本家本元」という言葉があります。これは「自分の所がその正宗の家筋である、即ち一門或いは一族の主たる家筋である」とのことを意味しており、血統の直系、流派の創始者の本流、お店で言えば総本店のことを指しています。一方中国語で『本家』というと「同一父系の親族、一族」の意味であり、日本語とは全く異なります。中国は男女別姓です。現在の法律では子供は父親の姓でもも母親の姓でもどちらの姓を選択してもよいことになっていますが、以前は子供は父親の性を名のらねばならないことになっていました。

従って日本語の「本家」は中国語ではその用例に従って『嫡系家庭』、『長子的家族』『创始人』『正宗』『鼻祖』『起源』『发祥地』などのいろいろな表現をしなければなりません。例えば「彼は我が一族の本家です」という場合は『他是我们本家的嫡系家庭』であり、「仏壇はたいてい本家に設ける」が『佛龛一般都设在长子的家里』となり、「本家争いをする」が『争执谁是创始人』、「あのメーカーはキャラメルの本家本元です」が『那厂家是牛奶糖的鼻祖』となります。また「漢字は中国が本家だよ」と言う場合は『汉字的发祥地是中国』又は『汉字起源于中国』となります。

一方中国語の『本家』は「同一父系の親族」、即ち父親の祖先を同じくする同族との意味ですから、『他们的镇全体同姓、都是本家（彼の村は皆同じ姓の者ばかりで皆同族だ）』、『我和他是本家、但我是直系、他不是（私と彼は一族ではあるが、私は本家で、彼は分家である）』、『我虽也是姓王、但我和他们不是本家（私の姓も王ですが、私と彼等は同族ではありません）』などの使い方をします。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１０４回）

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

「単位」

日本語の「単位」には、ある量を表す時の比較の基準とする単位、ある組織や運動を構成する基準となる単位、そして学校に於いて一定の学習量を基準とする学習の単位の３ッの意味があります。

ある量を表す時に比較の基準とする単位の用例としては、「長さの単位はメートルである」、「家族は社会の基本単位として考ええられる」、「利益は百万円単位で計上する」、「職場単位で労働組合を組織する」などの例です。この場合は中国語も『单位』で表現し、『长度的单位是米』、『家庭被认为是社会的基本单位』、『按工作单位组织工会』、『获利以一百万日元为单位表示』となります。なお「月単位で給与を支給する」や「一時間単位の生産高が増加した」の場合は、中国語で『单位』を省略して『按月支付工資』、『每一个时间的生产率提高了』との表現が出来ます。

ある組織や運動を構成する基準となる単位の用例としては、「修学旅行はクラス単位で行動する」、「５人一組で防火グループを組織する」などがあり、これも中国語で同じ『单位』を使って表現出来ます。『修学旅行时以班級为单位而行动』、『以五个人为单位组织防火小組』です。

然し最後の一定の学習量を基準とする学習の単位のみは、中国語では『学分』で表現し、「４単位のフランス語」が『四学分的法语』、「彼は卒業に必要な単位が取れていない」が『他没能取得毕业所需的学分』、「私の弟は単位が足りず卒業出来ない」が『我的弟弟学分不够不毕了业』となります。

扨て以上は日本語を中心に説明しましたが、中国語特有の『单位』として、日本語の「職場」があります。「職場」には国家機関、団体、会社、そしてそれ等の中の組織である部や課がありますが、これ等を全て『单位』で表現しています。「貴方はどちらで働いていますか？」、「彼は会社の幾つかの事業部をたらい回しにされ、最後に我々の部門へ来た」、「たくさんの機関・団体が競争に参加した」、「今日私の職場は休みです」、「私の家は職場からかなり離れています」等が用例で、『你在哪个单位做工作呢？』、『他在公司里的几个单位踢来踢去好几次、最后被调到我们的单位来了』、『有很多单位参加了比赛』、『今天我们单位休息』、『我家离得工作单位相当远』と表現します。

この『单位』を邦文に訳す際に苦労があり、例えば本年１月１日から施行された「従業員年次有給休暇条例」の第二条に「機関、団体企業、事業単位、民営非企業単位、従業員を雇用している個人経営の商店などで連続して一年以上勤務している者は年次有給休暇を取得出来る」との前文があり、それに続いて『单位应当保证职工享受年休暇』との文章があります。この『单位』は冒頭の機関から最後の個人商店まで全てを包含しており、邦訳する際に改めてこの全てを述べる訳にはゆかず、「職場」とも訳せないので、ここでは「雇用者側」という日本語を使って「雇用者側は従業員の年次有給休暇を保証しなければならない」と訳さざるを得ません。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１０５回）
「人間」

日本語の「人間」は「にんげん」と読む場合と「じんかん」と読む場合があります。「にんげん」と読んだ場合は「人、人類、人がら」の意味ですが、「じんかん」と読んだ場合は「人間の住む世界、世の中、世間」、即ち「人によって構成された社会」を意味しています。

中国語の『人间』はこの「じんかん」と読んだ場合と同じ意味を持っています。その用例としては、『人间到处有青山（人生至る所青山あり＝世の中は何処へ行っても生活出来る道がある）』、『文化大革命时期的中国、简直象一坐人间地狱了（文革中の中国はまさにこの世の地獄だった）』、『人称苏杭是人间天堂（人々は蘇州と杭州をこの世の天国と言う）』、『换了人间（世の中が変わった）』、『人间苦（この世の苦しみ）』、『饱尝了人间的苦难（世の中の苦しみを嘗め尽くした）』などがあります。

日本語の「人間（にんげん）」は「人、人類」並びに「人品、人がら」の２ッの意味があり、「人、人類」の用例として「人間は偉大な創造力を持つ（人类拥有伟大的创造力）」、「人間関係をうまく処理する（妥善处理人际关系）」、「人間関係を大切にする（珍視人际关系）」、「人間は動物と異なり考えることが出来る（人和动物不同、人会思考）」、「人間はものを考える動物である（人是有思考的动物）」、「彼はとても真面目な人間である（他是一个很认真的人）」があり、一方「人品、人がら」の用例としては、「あの人は人間が出来ている（那个人非常有修养）」、「あの人は人間が良すぎて反って騙される（那个人过于忠厚、反倒受欺）」、「あのやり方は人間以下だ（那小子干的事、简直不是人）」などがあります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１０６回）
「一面」

日本語の「一面」にはいろいろな意味があります。「あたり一面銀世界であった」、「物の一面だけで判断すると誤る」、「部屋一面にほこりが積もっている」などの表現はその一面全体を指しています。「彼の行為は避難すべきものであるが、一面また同情すべきものである」、「君は問題の一面しか知らない」、「君の物の見方は一面的である」は一つの側面を指しています。また「この事件は新聞第一面のトップを飾

った」、「人民日報第三面にある国際記事」と新聞のページを指す表現があります。これを中国語で表現すると一面全体を意味する文章は『周围是一片银色世界』、『仅从单面来判断会出错』、『满房子是灰尘』と日本語とは全く違う表現をします。また一つの側面を指す文章は『他的行为应该批判、但另一方面也有值得同情的地方』、『你仅仅知道问题的一个方面』、『你看事情很片面』と日本語でも使われる「別の一面とかもう片方の面という具体的な表現となっています。また新聞の第一面は『第一版』と表現し『那个事件登在头版头条』とか『人民日报第三版的国际新闻』となります。

扨て中国語の『一面』には日本語と共通した使い方があります。それは物体や物事の幾つか複数ある面の一つを指す場合と鏡のような平らなものの数量詞として使う場合で、「この紙の一面は赤で、一面は青色だ」とか「彼には賢い一面もある」という文章で、中国語も同じ『一面』を使って『这張纸的一面是紅色、一面是蓝色』、『他也有聪明的一面』と表現し、数量詞は「一面の鏡」が『一面鏡子』となります、

また中国語の特有な『一面』の使い方として、二つの動作が同時に進行する場合の副詞としての使い方があり、「～～しながら、～～する」との表現です。「話をしながら新聞を読む」、「歩きながら歌う」、「彼はテレビを見ながら妹への手紙を書いている」という場合に、中国語で『一面说、一面看报』、『一面走、一面唱』、そして『他一面看电視、一面写給妹妹的信』となります。

この他に物体の一側面や物事の一方面を表す場合に『一面』を使いします。『房子朝东的、一面紧靠着马路（家の東側は大通りに面している）』とか『他一个人独当一面（彼一人である部門の仕事をする）』です。またこれ以外に日本語の「一面識」に通じる『一面之雅（一度会った間柄）』、『一面之词（一方の言い分）』とか『我和他見过一面（彼と一度会ったことがある）』などの使い方があります。

『一面』という「一つの面」を意味する単語から、日本語と中国語で夫々いろいろと派生した表現があり、非常に面白く感じられます。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１０７回）
「一層」

日本語にも中国語にも「一層」という言葉があり、この両国語で共通しているのは「一つの層」という意味だけです。日本語で「そこには一層の悲しむべき厚い壁があった」という場合に中国語で『在那里有了一层可悲的厚障壁』となります。

これ以外の日本語の「一層」には副詞として「更に」との使い方があり、中国語では『越发』、『更加』や『更』を使って表現します。「何年ぶりで会ったら、彼女は一層美人になっていた」や「子供が一層激しく泣き出した」を『越发』を使って『几

年不見、她長得越发漂亮了』や『那个孩子越发痛哭起了』と表現し、「なお一層の努力を望む」や「木枯らしの後は一層寂しく感じる」を『更加』を使って『希望今后更加努力』や『秋風过后、叶子落光、显得更加凄涼』と表現し、「一層のご支援をお願いします」や「ご同伴頂ければ一層都合がよい」を『更』を使って『希望今后请你給予更大支持』や『若能请你一起来、就更方便了』と表現します。

一方中国語の『一层』は、数量詞としての『层』と併せ、層をなしたものの一つの層との意味があり、日本語で「もう一つ」或いは「もう一歩更に」のことを意味しています。数量詞としての『层』は、「私の事務所は国際大厦の１７階です」を『我的办事处在国际大厦的第１７层』と表現します。この建物の階数は『楼』でも表現することが出来ます。また「もう一つ」或いは「もう一歩更に」の用例としては「ここにもう一つ別なニュアンスがあったが、彼は結局口に出さなかった」が『在这里还有一层意味、但他究竟没说出来了』となり、「この問題をもう一歩掘り下げて欲しい」が『这个问题、我希望再深入一层』と表現されます。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１０８回）

「野菜」

日本語で「野菜」といえば、主に副食に供する植物の総称で、英語でいうベジェタブルです。中国語では『蔬菜』或いは『青菜』と表現します。「緑黄野菜」を中国語で『黄绿色蔬菜』、「野菜スープ」を『蔬菜湯』、「野菜サラダ」を『蔬菜色拉』、「野菜畑」を『菜地』と表現します。また「庭で野菜を作る」が『在院子里种菜』、「家庭菜園で野菜を作っている」が『在家庭菜园种菜』なります。

一方中国語で『野菜』というと「食用に出来る野生植物」の意味で、わらびやぜんまいなどの日本語で所謂「山菜」といっているもので、中国語で表現すると『中国话的“野菜”是山上自生的野草』です。中国語の『野菜』を使った用例を挙げると「孩子们都到山上采野菜去了（子供たちは皆山へ山菜を取りに行った）』となります。

日本語で「野」というと草が生えている原っぱ、即ち「野原」を考え、「野球」という言葉もその発想から来ているようで、夏目漱石がベースボールを「野球」と邦訳しました。中国語では『棒球』と訳されています。中国語で『野』というと「野山」の感覚と思われます。因みに中国語では鹿、猪、蛇、野鴨、山椒魚など野山に猟に出て獲物として捕って来たものを『野味』と言っています。また皆さんもよくご承知の通り、中国語の『猪』は日本語の「豚」のことであり、『野」をつけて『野猪』と書くと日本語の「猪」になります。

・

・

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

・

中国語で誤解しないように（第１０９回）
「是非」

日本語で「是非」というと、是と非、即ち道理に叶っていることと叶っていないことを意味し、それから転じて良いこと悪いこと、正しいか間違っているか、そしてそれを判断、批評する際に使われます。また日本語には「是非とも、必ず、きっと」という副詞として使い方がありますが、中国語にはこの使い方はありません。

日本語の「必ず、是非とも、きっと」の中国語としては『务必』、『必须』或いは『一定』で表現します。また「是非～～しなければならない」と言う場合に、『非～～不可』という表現があります。用例としては「是非皆さん出席して下さい」が『请大家务必出席』、「是非ともお受け取り下さい」が『请务必收下』です。「この問題に我々は是非とも回答しなければならない」が「对这个问题、我们必须回答』、或いは『对这个问题、我们非回答不可』、「これは是非考慮しなければならない」が『必须考虑这个事情』或いは『非考虑这个事情不可』と表現出来ます。『一定』を使った例としては「私は是非北京へ行ってみたい」が『我一定要去北京看看』、「是非来て下さい」が『请你一定来吧』などがあります。

扨て善悪或いは正誤の場合の『是非』について、同じ使い方をしていると説明しましたが、日本語で「是非」を使った場合に、中国語で『是非』を使わない場合もありますので、この２つについてそれぞれ用例を挙げることとします。

日中双方で『是非』を使う用例は、孟子に『是非之心、人皆有之』という言葉があり、これは「人は皆是非を判断する心を持っている」との意味です。これと同じく、「是非を論ぜず（不论是非）」、「是非をわきまえる（懂得是非）」、「是非をはっきりさせる（分清是非）』、「是非を混同する（混淆是非）」、「皆が反対するのなら是非もない（如果大家都反对、就无是非而言了）」、「是非善悪は衆人の決める所である（是非自有公论）」などがあります。

同じ「是非」なのに中国語で『是非』を使わない用例としては、『来是是非人、去是是非者』という言葉があり、これは「来て貴方に他人の批評をする人は、よそへ行って貴方の批判をする人である」との意味で、また『是非只为多开口、煩恼皆因強出头』という言葉は「人からいろいろと批評を受けるのは貴方の口が多過ぎるからであり、貴方が悩むのは自分が出しゃばり過ぎるからである」の意味です。これ等は些か文語的表現ですが、口語的な表現としては『那是个是非之地、少去是好的』が「あそこはうるさ方の集まりだから余り行かない方がよい」との意味です。

「是非」という言葉は「是か非か」との文語的な表現なので、現在は日本語でも中国語でもいろいろな表現がされている次第です。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１１０回）
「結局」

「結局」という言葉があります。この語源は囲碁を一局打ち終わったとの意味から来ている由で、ある局面が終わりを告げることを意味しています。要は最後の落ち着いた状態ということで、日本語で「結局」も使われますが、多くは「あげくの果」や「とどのつまり」との意味から、「結末」とか「結果」として表現しています。

中国語の『结局』は名詞のみに使われます。用例として『那个故事的结局、非常凄惨（あのストーリーの結末は余りにも痛ましい）、『结局出人意料（結末は予想外だった）』、『结局是很好的（結果はたいへん良かった）』、『这样的结局是大家都想不到的（こんな結果になるとは皆予想外であった）』などがあります。

一方日本語の「結局」は名詞としても副詞としても使われ、名詞としては中国語の『结局』と併せ『结果』や『最终』で表現されます。「結局はどうなったのか（结局是怎么样的了）」、「いろいろと努力をしたが、結局は失敗であった（虽然做了种种努力、但结果是失敗的了）」、「結局は金の問題だ（最终还是钱的问题）」などがあります。

然し日本語の場合その多くは「結局」を「とどのつまり」や「あげくの果」の同義語の副詞として使われており、それを中国語では『结果』『究竟』『终归』『到底』『归根到底』などのいろいろな表現があります。なおこの『归根到底』には、『归根结柢』や『归根到蒂』という表現もあります。用例として「どっちの道を行っても、結局は同じ場所へ出る（不论走哪条路、结果都到同一个地方）」、「彼は何のかのと言っているが、結局払う気持ちがない（他说東拉西扯、究竟不想要付钱）」、「この世の中、結局正直者が損をする（这个世道、老实人终归吃亏）」、「君は結局何をしたいのか（你到底想要做什么？）」、「人類社会の発展は、結局生産力の発展が決定する（人类社会的发展、归根到底、是由生产力的发展决定的）」、「本当の教育とは結局誠心誠意の問題である（真正的教育、归帰根结柢、都是有没有诚心实意的问题）」などです。我々が日本語で普段よく使っている「結局」について、中国語との微妙な差を説明しました。

・

・

・ _

中国語で誤解しないように（第１１１回）
「分解」

日本語の「分解」は「一つのものを個々の要素に分ける」との意味で、機械や設備を分解する場合や、化合物や合成物をその構成要素に分解する場合に使われます。このうち中国語でも同じ『分解』として使われるのは、化合物や合成物を構成要素に分

解する場合のみです。即ち「澱粉を分解して糖分とする」とか「水を酸素と水素に分解する」を、同じ『分解』を使って『把淀粉分解为糖』とか『把水分分解为氧和氢』と表現します。なお「因数分解」は『因式分解』、「電気分解」は略して『电解』と表現しています。

では日本語で表現しているその他の「分解」を中国語でどの様に表現しているかと言うと、機械の分解には『拆卸』が使われて、「分解修理」が『拆卸修理』、「分解掃除」が『拆卸清洗』となっています。従って「扇風機を分解して掃除する」が『把电风扇拆卸清洗』となりますが、時計の修理のみは油をさすとの意味の『擦油泥』が使われ「この腕時計はそろそろ分解修理が必要だ」が『这个手表就要擦油泥了』となります。なお「空中分解」は『空中解体』と表現され、「分解ガソリン」は石油をクラッキングしたものなので『裂化汽油』となります。

扨て中国語の『分解』はどのような日本語の意味を持っているかと言うと、化合物や合成物を分解するとの意味と併せ、「調停する、仲裁する」や「分裂する、ばらばらになる」との意味を持っています。『难以分解』は「調停しにくい」との意味で、『双方各不相让、难以分解』が「双方が頑として譲らず、仲裁することが難しい」となります。また『促使敌人、内部分解』は「敵が内部分裂するように働きかける」との意味です。『分解』には「詳しく話す、解き明かす」との意味もあり、古い時代の連載物の小説の章や講釈の終りに用いる慣用句に『且听下回分解』があります。これは「詳しくは次回の講釈をお聞き下さい」との意味で、日本語での「次回をお楽しみに」と同じ表現です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１２回）
「商量」

日本語で「商量」というと現在の人は簡単に「景気が悪く商量が少なくなった」との表現で「商売量」の略語かと思いがちですが、広辞苑には「あれこれと量り考えること」となっています。「心の中であれこれと商量する」という硬い表現であり、現在の言葉では単に「心の中であれこれと比べて考える（或いは酌量する）」と言うことになるでしょう。この「商量」を中国語では『考虑』や『酌量』で表現し、「相手の気持ちを心の中であれこれ商量する」を『在心里考虑对方的心情』或いは「在心里酌量对方的心情』と表現します。

扨て中国語の『商量』は、我々が日常の中国語会話でよく使っている通り、「相談する、意見を交換する」とか「協議する、打ち合わせる」との意味を持っています。「相談する、意見を交換する」の用例としては、「本件について山田さんへ手紙を書いて相談する」が『我把这件事要写信跟山田先生商量一下』で、「何かあるなら皆で

相談したらよいではないか、なぜ口論をするのか！」が『有事我们商量商量好么、为什么这样争吵起来呢！』であり、「協議する、打合わせる」の用例としては、「我々で協議をした上で決定しよう！」が『我们商量一下再决定・！』、「本件をどう処理するかについてよく専門家と打ち合わせなければならない」が『怎样处理这事、我们必須跟专家商量一下』があります。

この日本語の場合に「協議する、打合わせる」を「相談する」と置き換えても意味に変わりがありません。なお「協議する」との中国語に『协商』という言葉があり、『商量』は一般的に話し言葉として使われ、他方『协商』は「本件について甲乙双方は協議を経て意見が一致した」が『这件事甲乙双方经协商达成了意見的一致』のように文書に於ける書き言葉として使われています。

なお漢和辞典を見ると「商量」について「心の中であれこれと考える」との意味と併せて「相談する、協議する」との記載がありますので、「心の中であれこれと考える」は古来からの日本語の使い方であり、中国から「相談する、協議する」との使い方が入って来たものと思われます。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１３回）
「回生」

日本語の「回生」とは、「起死回生」のように「生命が戻る」とか「生命が蘇る」という「生き返る」という意味しかありません。中国語にも当然この「生き返る」との意味があり、『起死回生』もそのまま使われ、「起死回生の妙薬」を『起死回生的良药』と表現します。

中国語の『回生』にはこれ以外に、日本語には全くない２つの意味があります。一つはこの『生』が「知らない、覚えていない」を意味する中国語の『生疏』の『生』の場合であり、『回生』とは「全く知らない或いは全く覚えていない状態に戻ってしまうこと」を意味しています。この用例としては「以前習った英語の単語を、最近忘れがちになった」と表現する場合に、『以前学习的英语单词、现在有些回生了』との使い方をします。

もう一つはこの『生』が「生（なま）」を意味する『生』の場合で、『回生』とは「生の状態の戻ってしまうこと」を意味しています。この「生の状態に戻る」ことから転じて「改善したものが改善された前の状態に戻る」場合にも『回生』を使うことがあります。前者の用例としては、「それは昨日茹でて下拵えした凉拌牛肉だが、生に戻ってしまった、食べてはいけない」が「那是昨天加热准备的凉拌牛肉、回生了、不要吃了」であり、後者の例としては「文盲一掃の仕事が一段落したが、引続きその成果を鞏固なものとして、後戻りの現象が起こらないようにしなければならない」が

『扫盲工作告了一段落后、就要接着巩固、以免发生回生现象』との使い方をします。
日本語の「回生」の「生」は「生命」のみの「生」でしたが、中国語の『回生』の『生』には『生命』の『生』と併せ、『生疏』及び『生（なま)』の『生』があることを説明しました。
なお日本語の電気用語として「回生制動」とか「回生制御」という言葉がありますが、これを中国語では『再生制动』或いは『再生控制』と表現しています。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１４回）
「交代」

日本語の「交代」は「交替」とも書き、「役割が入れ代わる、入れ替わる」ことを意味しています。この「交代」を中国語では『交替』『替換』で表現し、「輪番での交代」を『轮流』『轮换』、そして「勤務の交代」の場合を『换班』『倒班』として表現しています。
用例としては、「新旧交代」を『新旧交替』、「二人が交代で仕事をする」が『两个人替换着做工作』、「４時間ごとに当直を交代する」が『值班每四小时轮流一次』「昼夜交代で働く」が『昼夜轮换工作』、そして「交代勤務時間」が『换班时间』、「８時間交代で勤務する」が『八小时一倒班』となります。その他野球で「６回で投手が交代した」を『第６局替换了投球手』、「交代投手」を『上场替换的投球手』と表現し、また軍隊で歩哨に立つことを『站岗』といいますので、「歩哨の交代」の場合のみ『换岗』といいます。
扨て日本語の「交代」を『交替』と書いた場合は、中国語でも同じ意味を持っていますが、『交代』そのものの場合は日本語とは全く違う意味になり、且つ大きく分けて３つの意味を持っています。分かりやすく番号を付けて説明します。
（１）前任者が後任者に仕事を引き継ぐこと；
『交代工作』とは「仕事の引継ぎをする」との意味です。『离职时要把工作交代清楚』とは「職を離れる時は事務引継ぎをちゃんとしなければならない」との意味です。
（２）詳しく話す、説明する、はっきり述べる；
『我有一句话向诸位交代』とは「私は皆さんに一言申し上げることがある」とのこと、『向老百姓交代清楚政府的政策』とは「人民に政府の政策を詳しく説明する」とのことであり、また『交代問題』が「事の顛末をはっきり述べる」、『不用多交代了』が「詳しく喋らなくてよい」とのことです。これから転じて「報告する、結末をつける」との意味を持っており、更に転じて「申し開きをする」とか「自白する」との意味を持っています。「報告する、結末をつける」の例とし

ては『我回去没法儿交代』が「私は帰って報告のしようがない」であり、『这件事算是交代了』が「この件はこれで結末がつきました」です。また「申し開きをする、自白する」の例は、『这个东西是从伊東先生借来的、你把它弄坏了、我怎么向他交代』が「この品物は伊東さんから借りてきたものだ、お前が壊したからといって、彼に申し開きが出来るものではない」、『你们要好好儿地交代自己的罪行』が「君達は自分の犯した罪を徹底的に自白しろ」です。

（３）言いつける、言って聞かせる、頼む；

『大夫一再交代他、要戒烟戒酒』とは「医者は彼に禁酒禁煙するように何度も言い聞かせた」との意味であり、『所有的事情都向朋友们交代好了』が「一切の事は、皆友達に十分頼んだ」との意味です。

なお『交代』は『交待』とも書いてこの二つは同じ意味です。中国語の『交』には交わる、交差する、渡すの意味があり、『代』には代わる、代理するの意味、そして『待』には接待する、待遇するの意味が夫々ありますが、それが『交代』或いは『交待』となると何故このような意味となってしまうのかが、中国語の難しいところと思います。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１５回）
「拘束」

日本語の「拘束」とは掴まえておくことで、外部の規則或いは法律法規によって身柄に制限が加えられ、自由な行動をさせない場合に使われます。中国語では身柄などの「拘束」を『拘留』、自由な行動などの「拘束」を『束缚』『限制』又は『约束』で表現します。

用例として、「身柄は拘束されたが、間もなく釈放された」が『拘留了不久、就被释放了』、「身柄は一晩警察によって拘束された」が『被警察拘留了一个晚上』であり、「拘束の解除」が『束缚的解除』、「言論の自由を拘束しない」が『不限制言论的自由』、「夏休みは何の拘束もないから自分の仕事ができる」が『暑假期间没有任何约束、可以做自己的事』となります。

扨て中国語の『拘束』は日本語とは異なり、外部のしきたりや回りの雰囲気で行動や気持ちの自由に制限を加えられることで、日本語では「束縛」で表現され、また周囲の雰囲気で「硬くなる」「堅苦しく畏まる」などの場合にも使われます。

用例としては『传统概念拘束着人们的思想』が「伝統的な概念が人の思想を束縛している」、『不要拘束年轻人的思想』が「若者の考え方を型にはめてはいけない」、『我不愿意任何人的拘束』が「私は如何なる人の束縛も受けない」などです。また周囲の雰囲気で硬くなる場合の用例としては、『他们都是自己人、不要拘束』が「彼等

は皆身内ばかりだから気を使う必要はない」、『在生人面前显得有些拘束」が「知らない人の前で些か気がはって硬くなっている」、『她在我父亲的面前拘束地站起来』が「彼女は私の親父の前で硬くなって立ち上がった」などがあります。「拘束」の日本語と中国語の使い方に若干差がある点を説明しました。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１６回）
「便宜」

日本語で「便宜」を便宜を図るとか便宜を与えるとして使った場合は、「あることをするのに都合がよい適宜な措置」を意味し、「便宜上」とか「便宜的」として使った場合は「その場限りの適宜な措置」を意味します。

この場合に中国語では『方便』或いは『权宜』で表現します。用例として、「彼は便宜を図って、私へ情報を提供してくれた」が『他谋求了方便、给我提供了信息』、「私は便宜上職場では旧姓で通している」が『为了方便、我在单位里用旧姓』、「便宜的に１米弗を１００円で計算する」が『为了方便、以一个美元做为１００日元来计算』となります。また「便宜的な方法を採る」が『采取权宜的办法』、「便宜上の措置」が『权宜之计』と『权宜』を使って表現します。

さて中国語の『便宜』には、［Ａ＝bian（４声）－yi（２声）］と［Ｂ＝pian（２声）－yi（軽声）］の２ッの発音があり、用途が異なります。［Ａ］の『便』を無気音で発音し、『便宜』の発音を４声－２声とした場合は、日本語の「便宜」と同じで「便宜である」とか「都合がよい」との意味を持っています。用例として『我们去访问的时候、他们给我们种种便宜、实在感谢得很』が「我々が訪問した時、彼等はいろいろと便宜を図ってくれ、全く感謝にたえない」、『这个干我很便宜』が「これは私には甚だ好都合である」などがあります。

一方［Ｂ］の『便』を有気音の２声とし、『宜』を軽声で発音した場合は、日本語と異なる意味を持っています。先ず「値段が安い」との意味で一番よく使われます。『这双鞋的价格很便宜』が「この靴の値段はたいへん安い」、『便宜无好货』が「安い物にはよい商品がない」とのことで「安物買の銭失い」とも言えます。そして『便宜些！、算１００元吧』は「ちょっと値引して！、１００元にして下さい」です。

併せて本来貰うべき利益を取るとか与えるとの意味があり、俗に「旨い汁を吸う」とか「得をする」との意味です。用例として『他总有占便宜』が「彼はいつも旨い汁を吸いたがる」、『贪便宜、受大害』が「利益をむさぼって大損をする」の意味で、『要是这么办、真便宜他了』が「若しこうすると、彼に旨い汁を吸わせる事になる」があります。なお『不能就这么便宜他了』といったっ場合、「こんな風に彼に得をさせる訳にはゆかないぞ」の意味ですが、これには「このままでは済まされないぞ」と

の裏の意味も含まれています。またこれと同じ意味で『便宜话』が「うまそうな話」或いは「いいかげんな話」を表現しています。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１７回）
「方便」

前回で日本語の「便宜」は中国語で『方便』となるとの説明をしました。今回はその「方便」を取り上げて日本語と中国語の差を説明します。

日本語の「方便」にどんな意味があるかというと、広辞苑に「目的の為に利用する便宜的な手段」とあり、その語源は仏語の「衆生をその教えに導く為に、仮に設けた教え」との意味です。ここから「嘘も方便」という言葉が生まれ、中国語だと『不说真话、有时也是一种权宜之计』という表現になるでしょう。判り易く言うと、日本語での「便宜的手段」の俗な言い方が「方便」となります。

一方中国語の『方便』には「便宜を図る」と併せて、「便利である」や「具合がよい」との意味を持っています。「便宜を図る」の用例が『大开方便之门』で「大いに便宜を図る」、『这个事情、请你行个方便吧』が「この件について便宜を図って下さい」であり、「便利である」の用例は、『交通很方便』が「交通至便である」、『出门就有超级市场、生活上很方便』が「家を出たら直ぐスーパーがあり、生活をするのにたいへん便利である」り、また「具合がよい」の用例は、『在这里说话不方便』が「ここは話をするのに具合が悪い」、『身子不方便』が「身体の具合がよくない」などです。

扨て中国語の『方便』には、いろいろな都合を曖昧に表現する使い方を持っています。例えばこの『身子不方便』は、妊娠している場合に『我的爱人現在身子不方便』として使ったり、また『～～不太方便』の形で「～～が不自由」とのことで、身体に障害がある場合の婉曲な表現をします。その他お金について『現在手儿不方便（目下手元が不如意である)』と表現することや、また用便についても『你要不要方便一下？（トイレに行きますか？)』とか『我找个地方方便方便（何処か適当な場所を探して用をたしてきます)』と婉曲に表現をします。このような婉曲な表現の仕方は全く日本語と同じです。

中国語ではこの『方便』が、その本来の「便宜的な使われ方」と併せて婉曲な表現をする場合に使われていることをご理解頂けたことと思います。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１１８回）

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

「親友」

中国ではお客様と２回も食事をすると、早いのは２回目から、遅い場合でも３回目にはにこにこ顔で『你是我的老朋友』と肩を抱き合って挨拶され、「もう我々は老朋友だから全く遠慮はいらないよ！」とのことで強く白酒を勧められ、その結果たいへん気持よく酔ってしまいます。余りの歓待振りに「俺はもう親友として受け入れられたのだ」と思い込み、親友の為に何かしなければとの気持ちから、商売での条件を譲歩をするなど、いろいろと頼み事を聞いてしまう方も出ています。

何故かかる情況が中国では起こるのかと考えてみました。日本語の一般的な会話には、「友人」、「好きな友達」そして「親友」しかなく、「友人」が『朋友』、「好きな友達」が『好朋友』といわれる情況下で、『老朋友』と言われたら「親友」と言われたと思い込み、日本人の心情として「相手を信用して付き合うのが親友あると」との潜在意識がある為ではないかと思われます。

日本語の「友人」にもいろいろな表現があります。「友人」、「仲のよい友人」や「親友」と併せて、「無二の親友」、「心を許した友人」、「莫逆の友」であり、また「学友」、「社友」、「盟友」、「呑み友達」などです。

中国語の「友人」の表現も日本語と同じで、『朋友』や『好朋友』と併せて、「親友」を『挚友』といいます。従って「無二の親友」は『唯一的挚友』といい、その他『至交』、『至交朋友』とも表現します。「心を許した友（心友）」が『知心朋友』「莫逆の友」は心に逆らうことがない意気投合した親しい友とのことで、『他们两个人是莫逆之交（二人は莫逆の友である）』と表現しています。

「学友」は『同学』で、「同年度の一緒に勉強した学友」は『同班同学』といいます。また「社友」は同じ会社の同僚ですから、『单位同事』或いは『社内同事』と表現します。若し中国語で『社友』というと「その会社に関係ある友達」となってしまいます。「盟友」はあることを誓い合った同志のことで中国語も『盟友』と表現し、「呑み友達」はそのものずばりの『酒友』です。

扨て問題の『老朋友』は「古くからの友達、昔からの友達」の意味ですから、若し酒席で客先から『老朋友』と言われたら、『好朋友』と同じく「親しくさせて頂いている友人」と言われた程度と理解し、「親友」と言われたなどと思わないで下さい。

最後になりましたが、中国語の『亲友』は「親戚と友人」という意味です。用例としては、『很多亲友参加了他的婚礼』が「たくさんの親戚と友人が彼の結婚式に参加した」、『他在这儿没有一个亲友』が「彼はここでは親戚や友人が一人もいない」、『亲友寄来的贺年片』が「親戚友人からの年賀状」です。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１１９回）

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

「所有」

日本語の「所有」とは自分のものとして持っている事です。「私は其の土地を所有している」、「その土地は私の所有になっている」、「彼は東京に幾つもの店舗を所有している」、「東京の幾つもの店舗は彼の所有になっている」、「所有権を侵害する」と使われています。これを中国語に訳すと『我拥有那块土地』、『那块土地归我所有』、『他在东京拥有好几家店舗』、『在东京的好几家店舗归他所有』、『侵害所有权』となります。このように「～～を所有する」と、目的語を持って使われる場合は、中国語では『拥有』を使います。

中国語の『所有』には３ッの使い方があり、一番目は上記の例に出た「～～の所有である」との使い方、二番目は「所有物」との使い方、そして三番目は「全ての、あらゆる」という形容詞としての使い方です。一番目の用例は『那所房子現在归我所有了』が「その家は現在私の所有となっている」です。二番目の「所有物」の使い方は『一无所有』が「何も持っていない」、『尽其所有』が「その持っている物を出し尽くす」との意味で、『尽其所有能力、完成任务』が「その持てる能力を尽くして任務を完成する」となります。

扨て三番目の「全ての、あらゆる」という形容詞としての使い方が日本語と全く異なる点です。『所有问题都解决了』が「あらゆる問題が解決した」、『所有的人都为他很高兴』が「全ての人が彼の為にたいへん喜んだ」などが用例です。

同じ「全ての、あらゆる」を表現する中国語としては、『一切』があります。この『一切』の用例として、『一切空话都是无用的』が「あらゆる空言は無益である」、『一切生物都有生有死』が「どんな生物にも生と死がある」などがあり、『都』と呼応する表現が一般的です。この用例からみた『所有』と『一切』の違いは下記の通りです。

＊『所有』は形容詞で名詞のみを修飾し、『所有＋的』の形も取ります。『一切』は指示代詞で『的』を付ける必要はありません。『所有（的）問題』と『一切問題』がその例です。唯一の例外が『一切的一切』で「ありとあらゆるもの」との意味を持っています。『一切的一切、他都在所不顾了（彼は何もかも一切かまわくなった）と使います。

＊『所有』は一定範囲内で同種の事物の全体を指しますが、『一切』はその事物のあらゆる種類を指します。『所有的困难都解决了（全ての困難が解決された)』と、『一切困难都不怕（どんな困難も恐れない)』の差です。

＊『一切』は分類出来ない事物は修飾することは出来ませんが、『所有』にはその制限がありません。例えば『所有开水都喝完了（お湯は全て飲み尽くされた)』といえますが、『一切开水都喝完了』という表現は出来ません。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１２０回）
「貧乏」

日本語で「貧乏」とは、財産や収入がなく生計が思うようにならない貧困な情況を言います。「貧乏」には「貧乏暮らし」、「貧乏暇なし」や「貧乏人の子沢山」のような関連語がありますが、然しそれ以外に「器用貧乏」、「貧乏揺すり」、「貧乏くじを引く」、そして「豊作貧乏」など、貧困とか困窮とは全く関係がない、慣用句としての使い方もあります。

貧困や困窮を意味する「貧乏」を、中国語では『贫穷』や『穷』、そして『贫困』や『贫苦』を使って表現し、『贫乏』という語彙は使いません。用例としては、「弟は貧乏だから、いつも兄が援助している」が『弟弟穷、所以哥哥总是帮助他』、「彼は本当の貧乏の味を知らない」が『他没有真正尝过贫穷的苦味』、そして「私の家は戦争で貧乏になった」が『我家由于战争变得贫困了』、「私は貧乏の中で育った」が『我在贫苦之中生長了』などです。

一方中国語の『贫乏』は、「乏しい」とか「足りない」との意味で使われます。例えば『如果是作家的生活体験贫乏、思想贫乏、写不出好的作品来了』と使われ、これは「若し作家の生活体験が乏しく思想が貧困であれば、決してよい作品を書けない」との意味です。その他『知识贫乏』が「知識が乏しい」、『词汇贫乏』が「語彙が足りない」、『资源贫乏』が「資源不足」などがあります。これは日本語の「器用貧乏」や「豊作貧乏」と全く同じ使い方です。この様に日本語の「貧乏」は財産や収入の面で使われ、中国語の『贫乏』は知識や経験その他が乏しい場合に使われます。

扨て冒頭に挙げた「貧乏」を使った言葉の中国語での表現は、それに適合する中国語の慣用句がないのでどうしても説明調にならざるを得ず、「貧乏暮らし」が『过贫穷的生活』、「貧乏暇なし」が『总是穷忙』、「貧乏人の子沢山」が『穷人（唯有）孩子多』、「器用貧乏」はその意味を理解しないと判らないかも知れませんが、直訳的表現で『样样精通、穷苦一生』或いは『身通百艺、潦倒一生』、「貧乏揺すり」が『不停地摇晃腿』、「貧乏くじを引く」が『遭到厄运』、「豊作貧乏」は『因丰收降价、收入反而减少』との表現になるでしょう。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１２１回）
「覚悟」

日本語の「覚悟」は元来仏語で「迷いを去り道理を悟ること」を意味しているとのことです。日本語では「命をかける覚悟である」、「非難されるのは覚悟の上だ」、

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

「心静かに死の覚悟をする」などの表現で使われます。これは表現を換えると「命をかける決心をする」、「非難される心の準備は出来ている」、「心静かに死を受け入れる準備をした」となります。

中国語の『觉悟』は日本語とは全く異なり「自覚する、認める、目覚める」との意味を持っています。中国語の『觉悟』の用例としては、『他觉悟到自己错了（彼は自分の誤りを認めた）』、『亲切地说服的结果、很顽固的他也逐漸地觉悟起来了（懇切に説き聞かせた結果、頑固な彼もだんだんと認め始めた）』、『我才能觉悟到问题的厳重性（私は問題の重大性をやっと認識することが出来た）』などです。また複合語の用例としては『阶级觉悟（階級意識）』や『政治觉悟（政治的自覚）』があります。

一方日本語の「覚悟」を中国語で表現する場合は、上記で表現を換えて説明をした形式で『决心』や『精神准备』を使います。「私には命をかける覚悟がある」が『我有豁出性命的决心』、「私が非難されるのは覚悟の上だ」が『我早已做好受批评的精神准备』、「私は心静かに死ぬ覚悟をしている」が『我平静地准备着死去』です。なお「何事が起ころうとも私の覚悟は出来ている」の文章は『无论发生什么事、我都做好了精神准备』でも『无论发生什么事、我的决心不会动摇』でも表現出来ます。また「決死の覚悟で臨む」と言う場合には『破釜沈舟』という四句成語があります。これは釜を壊し船を沈め決死の覚悟で戦いに臨むとの決意を示したものです。

なお『觉悟』を日本語で「目覚める」と理解した場合に、同じ意味を持つ中国語に『觉醒』があります。『觉悟』を使った「目覚める」との例が『经过多次的说服、他终于觉悟了（何回にも渉る説得で、彼は遂に目を覚ました）』であり、一方『觉醒』を使った「目覚める」との例が『促使了当局觉醒（当局に目を覚ますよう促した）』です。この二つの違いは『觉悟』は漸進的で目覚めるまでに一定の時間を必要とするのに対して、『觉醒』は突然に目覚めるのでもよく、また『觉悟』は個人に対して用いることが多いのですが、『觉醒』を個人に対して用いるのは非常にまれであるとの差があります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２２回）
「新鮮」

日本語の「新鮮」には「新しい」との観点でいろいろな使い方があります。食べるものが新しく生きがよい場合、空気などの回りの環境がきれいでさわやかな場合、そして気分や雰囲気などの抽象的なことを新しく感じる場合などに使われています。こ

れらの「新鮮」は、中国語でも同じ『新鮮』が使われます。

食べるものが新しくて生きがよい場合の用例は「新鮮な果物」が『新鮮的水果』、「新鮮な野菜を仕入れた」が『采购了新鮮的蔬菜』、空気などの回りの環境がきれいでさわやかな場合の用例は、「新鮮な空気を吸う」が『呼吸新鮮的空气』、「新しい環境の中では全て新鮮に感じる」が『置身于新的环境中、什么都感到新鮮』、そして気分や雰囲気などの抽象的なことが新しく感じる場合の用例は、「新鮮な感覚の持ち主」が『具有新鮮感觉的人』、「新婚当時の新鮮な気持ちが戻った」が『又恢复了新婚时的新鮮感觉』などです。なお「新鮮な発想」の場合は『新鮮的想法』とも『新奇的想法』とも表現出来ます。

中国語の『新鮮』には日本語の「新鮮」と全く同じ使い方をすることと併せて、「珍しい、目新しく感じる」などの意味や、「趣向を変える、気分を新たにする」という意味があります。また変わった使い方として「とんでもない」とか「ある筈がない」という場合にこの『新鮮』を使います。この点が日本語と全く異なる点です。

珍しいとか目新しく感じる場合の用例は、『吃个新鮮（珍しいものを食べる）』、『新鮮事儿（目新しいこと）』、『三天半的新鮮（三日坊主）』、『那已经不算什么新鮮的東西啦（それはもう珍しいもののうちに入らないよ）』、『这种事、我不觉得新鮮（こんな事は、私には珍しいとは思えない）』などがあり、趣向を変えるとか、気分を新たにするとの場合の用例は、『找个新奇別致的地方新鮮（何か変わった事を探して趣向を変えよう）』や『偶尔穿西装新鮮吧（たまには洋服を着て気分を新たにししよう）』などです。

中国語の『新鮮』の特別な使い方として「とんでもない」とか「ある筈がない」という場合にこの『新鮮』を使っています。『你敢反抗老子？、新鮮（俺に反抗するって？、とんでもない）』とか『我给他道歉？、新鮮（私が彼に謝るの？、そんな馬鹿なことがあるか）』です。この場合の『老子』とは怒った時や冗談をいう場合に使う自分を指す言葉で、日本語でいうと「俺」「俺様」「我が輩」に該当します。

日本語で「新鮮な野菜」や「新鮮な気分」の使い方と比べると、中国語の『新鮮』は思いがけない使い方があり面白い次第です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２３回）
「発作」

日本語の「発作」は病気が突発的に起こることで、広辞苑に「病状が急激に発し、比較的短い時間で去ること」と記載されています。従って「～～の発作が起こる」というように名詞として使われています。「咳の発作」が『咳嗽发作』、「心臓発作で亡くなる」が『因为心脏病发作而死』、「持病の発作が起きた」が『老病发作了』な

どです。なおこれが転じて突発的に起こることについて「発作的犯行」とか「発作的に笑いだした」と使われています。これを中国語では『突发性犯罪』とか『突然笑起来了』と表現しています。

一方中国語の『发作』は日本語と同じ意味の「病気の発作が起きる」との使い方と併せて「作用を起こす」との意味があり、全て動詞として使われています。病気の発作の用例は、「彼の喘息の発作がまた起きた」が『他的喘病又发作了』、「今朝私は胃病の発作を起こした」が『今天早晨我的胃病发作了』であり、作用を起こす用例としては、「たった今飲んだ２杯ばかりの酒がもう回った」が『刚才喝的仅仅两杯酒、现在发作了』、「私はビールならいくら飲んでも回らない」が『我喝啤酒、喝多少也不会发作』となります。

中国語の『发作』は「作用を起こす場合」の特別な使い方として、「怒りだす」とか「腹を立てる」場合にも使われています。『他虽在心里生气、但当着大家的面又不好发作了（彼は心中怒っていたが、皆の前で怒りだす訳に行かなかった)』とか『尽管你在心里有些不痛快、当着大家的面不应该发作（君は例え多少不愉快だったとしても、皆の前で怒りだしてはいけない)』などの用例です。一般的に怒ることを中国語で『发脾气』と言いますが『发作』とも言う次第です。なお『大发作歇斯底里（ヒステリーの大発作を起こす)』との表現もありますが、このヒステリーことを中国語では『癔病』といいます。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２４回）
「得体」

日本語の「得体」には「得体が知れない」との表現しかないようです。この意味はその本体や本性が分からないということですから、「得体」とは真の姿やその中身、即ちその本体或いはその本体が持つ真の考え或いは本当のことを意味しています。

「得体の知れない人」は中国語で『来路不明的人』或いは『来历不明的人』と表現され、「得体の知れない病気」は『莫明其妙的病』、また「馬だか何だか得体の知れない動物」は『似马非马不伦不类的动物』と表現出来ます。この『不伦不类』は得体の知れない、似ても似つかない、どっちつかずなどの意味を持っています。『这些比喻都是牵強附会不伦不类的東西』は「これらの比喩はみなこじつけのめちゃくちゃな得体の知れないものばかりだ」となります。

一方中国語の『得体』は日本語の「得体」と全く異なり、言動が適切妥当であり、身分や場所柄にふさわしいとの意味を持っています。用例として『他回答很得体（彼の回答はたいへん妥当である)』、『待人接物很得体（人や物事への接し方が非常に適切である)』、『他说的话很中肯、又很得体（彼の話はたいへん要領を得ており、

また非常に場所柄をわきまえている)』、『他做事总是那么得体（彼のすることは何時も様になっている)』、『文章剪裁非常得体（文章の添削が非常に的を得ている)』などがあります。なお文中の『中肯』とは「話が急所をつく、要点をついている」との意味であり、また物理学の「臨界」の意味も持ち「臨界質量」を『中肯质量』といいます。今回は日本語の「得体」と中国語の『得体』では全く意味が異なっていることを理解して頂けたと思います。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２５回）
「大手」

日本語で「大手」には「おおて」という読み方と「おおで」という読み方があります。「おおで」と読む「大手」は肩から手先までを指し、小手（こて）に対照するもので、「小手」は肘と手首の間を指し、日本の剣道の「小手」とはこの場所を打つ技です。

「おおて」と発音した場合は、城の門（大手門）並びに「搦手（からめて)」の対称となる敵の正面を攻める軍勢をさしますが、我々が通常使用している「大手」は、「大手筋」の略です。この「おおて」の用例として、「大手筋、大手企業」を中国語で『大戸头、大企业、大公司、大厂商』などで表現します。「私鉄大手九社」が『九大私营铁路公司』、「この企業は業界最大手の会社である」が『这个公司是同业中最大的企业』と表現し、また「大手のにらみが効いているので市場が安定している」が『因为有了几戸大企业的控制、所以市场情况比较稳定』となります。

「おおで」と発音した場合の「大手」の用例としては、「大手を広げて迎える」が『张开双臂热烈欢迎』、「大手を広げて立ちはだかる」が『张开双臂当住去路』となります。なお中国語で『大摇大摆』とは「大威張りで歩く様子」を表しており、「大手を振って歩きまわる」は中国語で『大摇大摆地走来走去』と表現することが出来、また『大大方方』は「ゆったりした様子」を表しているので、「彼は大手を振って中に入っていって行った」を『他大大方方地走进去了』と表現出来ます。

中国語の『大手』は「大きな手」の意味しかありません。従って用例は『日本职业相扑家都有大手（日本の相撲取りは皆手が大きい)』や『冠军相扑力士用双大手抬起大杯来、一口气喝光了占满的喜酒（優勝力士が大きなもろ手で大杯を持ち上げ、一気に満杯の祝い酒を飲み干した)』です。

また中国語には『大手大脚』という四語成句があり、「金遣いが荒い、派手に金を浪費する」との意味です。気前よく、使うべき金を惜しみなく使う使い方と異なり、節度なくぱっぱと金を使う金遣いが荒い場合に使われます。中国語ではこの『大手』の方がよく使われている様で、用例としては『他花钱大手大脚（彼は金遣いが非常に

荒い)』、『他这个人是大手大脚的、虽然赚钱不少、但一分钱也没存下（彼は金遣い荒い男で、収入は少なくないが一銭も残していない)』などです。

因みに冒頭に出た城の正門を意味する「大手」は中国語で『前门』又は『正门』であり、敵の正面を攻める軍隊を意味する「大手」は『正面进攻部队』又は『正面攻击部队隊』です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２６回）
「作業」

日本語の「作業」は「肉体や頭脳を働かせて仕事をすること」を意味しています。「荷役作業」「流れ作業」「手作業」や「作業計画」などとして使い、文章としては「作業の能率が上がる（上がらない)」、「作業手順を考えてから仕事を開始する」や「辞書の編集は非常に手数のかかる作業だ」などとして使われています。

一方中国語の『作业』は日本語の３ッの意味をもっており、１ッ目は先生が生徒に課する「宿題」、２ッ目は軍隊に於ける訓練としての軍事活動で「軍事演習」、そして３ッ目が職場で製作や操作の仕事に限って使う「作業」です。従ってこの３ッ目のみが日本語の「作業」と同じに使われる次第です。

日本語の「作業」は中国語で同じ『作业』と併せ、『工作』『操作』や『劳动』などで表現されます。日本語と同じく中国語で『作业』が使われる用例は「流れ作業」が『流水作业』、「手作業」が『手工作业』、「作業計画」はそのまま『作业计划』と表現します。その他中国語で『作业』を使う用例は『分段作业（段階別に作業をする)』『带电作业（電線に電気が通っている状態での作業)』や『机械作业（機械を使っての作業)』などがあります。

『工作』『操作』『劳动』を使う用例は、「荷役作業」が『装卸工作』、「作業の能率が上がる（上がらない)」が『提高工作效率（工作效率上不去)』となります。
また「作業手順をよく考えてから仕事を開始する」が『充分考虑操作程序后、才开始工作』と訳され、「辞書の編集は非常に手数のかかる作業だ」が『编辑辞典是非常麻煩的工作』、そして「作業服」が『工作服」又は『劳动服』となります。

扨て中国語の独特の用途である「宿題」は『家庭作业（宿題)』、『做作业（宿題をする)』、『布置作业（宿題を出す)』、『『批改作业（宿題を添削する)』として使われ、「先生は殆ど毎日宿題を出す」が『老師几乎每天布置家庭作业』となります。我々は日本語で「宿題」というと学校で先生から与えられた家に帰ってから行う勉強と理解していますが、中国語では家に帰ってからの宿題を敢えて『家庭作业』と表現しており、家に帰ってから行う宿題とその他の宿題を明確に区別しているようです。

なお「軍事演習」の『作业』の用例は『部队开到野地上去作业（部隊が野原へ行って軍事演習をする)』があります。

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２７回）

「一味」

日本語の「一味」には「いちみ」と「ひとあじ」の２ッの読み方があり、その意味がぞれぞれ異なります。広辞苑をみますと「一味（いちみ）」にはいろいろな意味がありますが、その中で現在我々が日常生活で使っているのは、（１）「一味の涼風」というように独特の味わいがあること、（２）味方をすることで、その仲間や同志、（３）七味とうがらしに対する一味のとうがらしの「一味」です。一方「一味（ひとあじ）」は「ちょっとした味」「微妙な味加減」という意味であり、一味（いちみ）の（４）「独特な味わい」はこれに含まれます。

「一味（いちみ）」の味方の仲間や同志を中国語では『同伙』『同党』で表現されます。日本語で「奴は泥棒の一味だ」、「密輸団の一味を手配中だ」、「彼は麻薬取引の一味だ」を中国語で『那家伙是小偷的同伙』『正在通缉走私犯的同伙』『他是贩毒同党』と表現されます。日本語で「一味」といった場合は、全て悪いことをする仲間や同志を意味していますが、中国語でも『同党』は徒党を組む仲間として悪い意味で使われることが多いそうです。

「ひとあじ」の「一味」は「ひと味」として表現します。用例として「このワインは普通のワインとひと味違う」、「この先生の講義は他の先生と比べひと味違う」、「同じ内容を喋っても、彼が話すとひと味違った面白みがある」などと使います。これを中国語で表現すると『这个葡萄酒和一般的葡萄酒口味不同』、『这位老師讲课比起别的老師来、确实有独到之处』、『同样的事让他白一讲、就比别人讲更有情趣』となります。

扨て中国語の『一味』は日本語の意味とは異なって「いちずに」「ひたすら」「どこまでも」の意味です。用例としては『一味地追求数量、不顾质量（いちずに数量だけを追い、質を顧みない）』、『他回家后一味念书、不到外边去玩儿（彼は家に帰ったらひたすら勉強をして、外へ行って遊ぼうとしない）』、『他一味支吾、老不肯办（彼はどこまでも言い逃ればかりして、何時までたってもやろうとしない）』です。

なお中国語の『一味』と日本語の「一味」に同じ使い方があり、漢方の品種の一品を指す場合です。『一味药（薬種の一品）』と表現し、これは「一味とうがらし」の「一味」と同じ使い方です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１２８回）

「達成」

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

日本語の「達成」は「成し遂げること」や「目的を達して成功すること」を表現しています。このような場合に中国では『达到』『完成』『成就』という言葉を使って表現します。用例としては「生産目標を達成した」が『达到了生产指标』、「売上げ目標を達成しないと減給される」が『达不到销售指标、就会被减工资』、「この計画は達成しやすい」が『这个计划容易完成』、「任務を繰り上げて達成する」が『提前完成任务』、そして「彼は将来必ず大きな事業を達成すると確信する」が『我确信他将来必定成就很大的事业』、「彼は畢生の力を費やしてその大プロジェクトを達成した」が『他尽毕生的力量、成就了那个很大的項目」です。

一方中国語の『达成』はある結果を出す意味では同じですが、中国語の『达成』はＡとＢ或いは複数の関係者が話合いを行って「意見の一致をみる」とか「取り決めを行う」場合に使われます。『达成了协议（協議が合意した)』、『达成了解（了解に達した)』、『达成合同（契約に至った)』として使われ、文章としては『日中双方就有关合资項目达成协议（日中双方が合弁プロジェクトに就いて合意に達した)』となります。

結果を出すとの意味では同じですが、使い方に違いがある点を説明しました。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１２９回）

「多少」

日本語の「多少」は名詞として「多いことと少ないこと」「ちょっとした分量」に使われ、副詞として「いくらか」「幾分か」「少しは」に使われます。「　名詞として「多いことと少ないこと」の用例は、「人数の多少により決定する」とか「経験の多少は問わない」とかで、「ちょっとした分量」の用例は、「多少の見込みはありますか」とか「その件について君は多少の責任がある」です。また副詞の「いくらか」「すこしは」の用例としては「希望は多少ある」、「今日は昨日より多少寒い」などです。

これを中国語で、「人数の多少により決定する」が『根据人数的多少来决定』、「経験の多少は問わない」が『不问经验的多少』或いは『不问经验的多寡』となり、「多少の見込みはありますか？」が『多少有些希望吗？』、「その件については君に多少の責任がある」が『在这件事上、你也有多少责任的』となります。副詞の用例は「希望は多少ある」が『多少有点儿希望』、「今日は昨日より多少寒い」が『今天比昨天多少有点儿冷』となります。この訳文をみると日本語の「多少」と中国語の『多少』が全く同様に使われていることが理解されます。

中国語の『多少』の使い方に日本語と差が生じるのは、中国語の『多少』に２ッの発音があるからです。『多少』を『ーＶ』と一声・三声で発音すると日本語と全く同じ使い方をしますが、『多少』を『ー・』と『少』を軽声で発音すると、数量の質問をする場合の「いくつ？」「どのくらい？」「どれだけ？」と、不定の数量を表す場合の「いくらか」「いくら

でも」で使われます。

数量を質問する用例は『你要多少？（君はいくつ要りますか？）』、『你们学校一共有多少学生？（君たちの学校は全部でどのくらいの学生がいますか？）』、『我把这个药每次吃多少？（私はこの薬を一度にどのくらい飲むのですか？）』などです。

この『多少』は大きな数量を質問する場合にも小さな数量を質問する場合にも使われますが、同じ数量を質問する言葉『几个？』は、『几千』『几万』という序数を除いて、１０未満の小さい数量の場合にのみ使います。

一方不定な数量の用例は『有多少要多少（あるだけ欲しい）』、『用不了多少时间（たいした時間をとらない）』、『我知道多少说多少（私は知っているだけ話す）』『没有多少、就这一点儿（いくらもない、これだけだ）』、『有多少座位、卖多少比票（席に見合うだけの切符を売る）』などです。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３０回）
「大方」

日本語で「大方」には「たいほう」という読み方と「おおかた」という読み方がありますが、現在一般的に「たいほう」と読む使い方をしていません。「たいほう」と読んだ場合の意味は、「学問見識の高い人」とか「度量の大きいこと或いはそういう人」の意味であり、これは中国語と同じ意味です。

日本語の「大方（おおかた）」は「大部分」「多分」「多くの人」の３ッの意味があります。「大部分」の意味の用例は「出席した人の大方は学生だった」「大方の話はもう鈴木さんから聞いた」、「多分」の意味の用例は「彼は大方は来ないだろう」、「今夜は大方雨だろう」、そして「多くの人」の意味の用例は「大方の賛同が得られた」、「大方の考えがそちらに向いている」などです。

「大部分」の場合は中国語で『大部分』『大致』『大体』『基本上』『差不多』でで表現され、「出席した人の大方は学生だった（出席的大部分是学生了）」、「大方の話はもう鈴木さんから聞いた（大致的情况已经从鈴木先生听过了）」、「その件の大方の情況はもう分かっている（那件事的大体情况已经知道了）」、「仕事は大方終了した（工作基本上结束了）」、「用意した金は大方使ってしまった（准备的钱差不多花光了）」です。「多分」の場合は中国語で『大概』で表現され、「彼は大方来ないだろう（他大概不会来吧）」、「今夜は大方雨になるだろう（今晚大概下雨吧）」となります。そして「多くの人」の場合は中国語で『大家』『一般人』で表現され、「大方の賛同を得られた（得到了大家的赞同）」、「大方の考えがそちらに向いている（一般人的想法傾向那方面）」となります。

中国語の『大方』は（１）気前がいい、物惜しみしない、（２）ゆったりとしておおらかである、鷹揚である、（３）デザインや色が上品である、あかぬけしている、（４）世間の

権威者、有識者の４ッの意味を持っています。

（１）気前がいい、物惜しみしないの用例は、『他很大方、不计较这几个钱（彼はたへん気前がよく、これ位の金にけちけちしない)』、『他花钱很大方（彼は金をとても気前よく使う)』で、（２）ゆったりとしておおらかである、鷹揚であるの用例は『你見了他尽可以大大方方的、用不着拘束（彼に会ったら出来るだけ鷹揚に構え、堅苦しくする必要はない)』、『这个人的举止大方（この人の物腰はがたいへんおおらかである)』、『衣服做得很大方（服がゆったりと作ってある)』です。（３）デザインや色が上品である、あかぬけいしているの用例は『这两种颜色配起来挺大方（この２ッの色の取り合せはとても品がよい)』、『房间布置得很大方（部屋の飾り付けがあかぬけしている)』です。（４）世間の権威者、有識者の用例は、『请求大方指教（有識者の教示を乞う)』、『大方之家（専門家)』、そして『贻笑大方』があり、これは学識や教養のある人に笑われること、即ち「識者に笑われる」との意味です。以上の中国語の意味をみると日本語の「大方（たいほう)」の意味とほとんど同じ範疇にあることが分かります。

なお中国語の『大方』は、お茶（安徽省歙県や浙江省淳安特産の緑茶）の銘柄にもなっています。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３１回）
「適宜」

日本語の「適宜」は２つの意味があり、１つは「本件は適宜な処置が必要である」と表現される、その場にぴったり合っている場合に使われ、もう１つは「その辺は適宜に処置して下さい」とい表現されるように、適当にとか、随意にとかいう若干幅をもたせた場合に使われます。

日本語の２つの使い方としての用例は、１つ目は「彼は適宜な処置を講じた」「彼の発言は非常に適宜であった」であり、これは『他采取了适当的措施』、『他说的是非常适当的』と表現し、中国語では『适当』が使われます。２つ目の方は「本件は適宜見つくろってやって下さい」、「貴方のお好きな料理を適宜選んで下さい」や「我々は本件を適宜運用します」との場合に使われ、中国語で『请把这件事随便瞧着办吧』、『请随意挑选你喜欢的菜吧』、『我们把这件事要灵活地运用』と表現されており、夫々のケースによって『随便』『随意』『灵活』などが使われます。

一方中国語の『适宜』は、日本語の「ちょうどよい」や「程よい」との場合、並びに「適している」や「向いている」との場合の２つに使われます。用例として前者が『浓淡适宜』が「濃淡がちょうどよい」、『他的体格是胖瘦适宜的』が「彼の体格は太り具合が程よい」であり、後者が『他适宜做经商（销售）工作』が「彼は営業の業務に向いている」、『你这种性格适宜搞外交工作』が「君の性格は外交関係の仕事に適して

いる」となります。

「適宜」という言葉の字を分解すると、「適当で非常に宜しい」と「適当に宜しくやる」との２つの意味に理解され、日本語は「極めて適切である」と「随意に」とこの２つの意味に使われていますが、中国語では同じ意味合いながら、日本語で「ちょうどよい」や「適している」とちょっとニュアンスが違った使われ方をしています。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３２回）
「白紙」

日本語の「白紙」は「しろがみ」と「はくし」の２ッの読み方をすることが出来、「しろがみ」と読んだ場合は白い紙のことですが、「はくし」と読んだ場合は「白い紙」との意味と併せて、「先入観のないこと」「何もなかった状態」「書くべき紙に何も書いていない状態」の３つの意味を持っています。

一方中国語の『白纸』は正に白い紙であり、色がある紙に対する白い紙、並びに字や絵などが書かれていない白い紙との「しろがみ」の意味しかありません。

中国語に『白纸黑字』という四字成句があります。これは白い紙に書かれている黒い字ということで「書面に表された動かない証拠」とのことを意味しています。『这是白纸黑字、谁也赖不掉』とか『这是白纸黑字、你还想抵赖？』として使われます。前者は「これはれっきとした証拠で、誰もいちゃもんをつけられない」との意味であり、後者は「動かない証拠があるのに、君はまだ言い逃れをするのか？」との意味です。なお『赖不掉』も『无法抵赖』も「言い逃れが出来ない」との意味ですが、上記の邦訳はちょっと表現を変えてみました。

扨て日本語の「はくし」と読んだ場合の「白い紙」以外の使い方の用例を挙げてみましょう。「先入観がない場合」の用例は、「この問題について、当方は白紙で会議に臨む」や「この件について、私はまだ白紙の状態だ」があります。中国語で『关于这个问题、我们没有任何成見地出席会议』や『对于这个事情、我还没有什么成見』と『没有成見』で表現します。「何もなかった状態」の用例は、「我々はこの問題を白紙に戻すことにする」や「私は今回の回答を全て白紙撤回する」などがあり、中国語で『我们把这个问题拉回到原状吧』や『我把这次的回答一律作废』となります。これは『恢复原状』や『收回诺言』でも表現出来ます。最後の「書くべき紙に何も書いていない場合」の用例としては、「何も書いていない紙」、「白紙委任状」、「白紙答案を出した」などがあり、中国語でそれぞれ『空白的纸』、『空白委任状』、『交了白卷』と表現します。

なお中国語で「顔色が真っ青」な状態を『脸色熬白』や『脸色刷白』と表現しますが、『脸如白纸』と『白纸』を使って表現することもあります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３３回）
「指摘」

日本語の「指摘」は、問題のある事柄を取り出して示すことであり、「不備な点を指摘する」とか「欠点を指摘する」との使い方をします。一方中国語の『指摘』は、誤りや過ちを指摘して非難するする場合に使われます。日中両国語の使い方が全く異なっています。

日本語の「指摘」は、「彼は会報で私の理論上の弱点を指摘した」や「人が自分の欠点を指摘した時に怒るのはよくないことだ」、そして「ご指摘の箇所は既に改良した」や「彼の性格には特に指摘すべき欠点がない」等があります。これを中国語で表現すると『他在会报上指出我的理论上的弱点了』、『别人指出自己的缺点、就恼火是不好的』、『你指出的地方、我已经做了改良(善)了』、『在他的性格上、没有特别指出的缺点』となり、全て『指出』で表わせます。

一方中国語の『指摘』の例は、『他受到了大家的指摘（彼は皆から非難された)』や『我时常遭受上司的指摘和責骂（私はしょっちゅう上司から非難されたり怒られたりしている)』、『免得受人指摘、还是自尊自重的好（人からとやかく言われないようにするには、やはり自重することが肝要だ)』などがあります。また『无可指摘』は「非難すべきところがない」との意味で、通常の日本語でいうと「非のうちどころがない」とのことになります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３４回）
「最高」と「最低」

日本語の「最高」とは最も高い、「最低」は最も低いとの意味ですが、それと併せて「最高」は「最も質がよく、非常にすばらしい」と誉める場合並びに「多くても」と最も高い限度を示す場合に使われ、「最低」は「最も質が悪く、非常に劣悪だ」と酷評する場合並びに「少なくとも」と最も低い限度を示す場合に使われます。

一方中国語の方は単に「最も高い」と「最も低い」との高さや低さの限度の意味しかありません。

最も高いや最も低いとの意味は日本語も中国語も同じなので、中国語の用例で説明します。「最も高い」方は、『他创造了历史上最高的记录（彼は史上最高の記録を作った)』、『在上海今天的温度达到了４０度、这是今年的最高气温（上海で今日の温

度が４０度に上昇し、これは今年の最高気温であった)』、『他以最高成绩毕业了北京大学（彼は最高の成績で北京大学を卒業した)』、『她正在梦想着无限美好的最高理想（彼女は今限り無く美しい最高の理想を夢見ている)」などの表現があり、一方「最も低い」方では、『把空调的温度调整到最低２０度（エアコンの温度を最低２０度に調整する)』や『我每个月维持着最低收入一千元（私は毎月最低１千元の収入を維持している)』などがあります。

扨て「最高」の最も高い以外の用例はいろいろとあります。「この本は最高に面白かった（这本书是最有意思的了、这本书是无上有趣的了)」、「彼は現在最高権力を保持している（他現在保持着至高无上的权利)」、「私は彼らの成果に最高の敬意を表した（我对他们获得的成果表示了最深敬意)」、「今日の料理は最高においしかった（今天吃的菜味道很好、无比香甜)」、「今日は空気がさわやかで最高に気持ちがいい（今天的空气很爽快、心情舒畅极了)」などです。かかる「最高」はその場合によって『无上』『无比』『极了』などで表現します。また「多くても」の例は、「参加者は最高１００人程だろう（参加的人、至多１００人左右吧)」、「今日は内容が少ないので、会議時間は最高１時間程度だろう（今天内容不多、会议的时间至多一个小时左右吧)」で、一般的に『至多』で表現します。

他方「最低」の方の用例は「嘘をつく人は最低だね（撒谎的人是最次的呢)」、や「私が昨日見た映画は最低だった（昨天我看的电影太差了)」、そして「会議の際に時間を守る事が参加者の最低条件だ（开会时、遵守时间是参加人的起吗条件的)」などがあり、『最次』『太差』『起吗』が使われます。また「少なくとも」の用例は、「健康を維持するためには毎日最低８時間の睡眠を心がけましょう（为了维持身体健康、我们应该留心每天起吗八个小时的睡眠)」、「最低これだけは覚えて下さい（至少也要把这点记住)」で、これは『至少』と共に『起吗』で表現します。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３５回）
「送信」

日本語で「送信」は、無線或いは有線で電信を送ることを意味しますが、中国語の『送信』とは手紙を送ることであり、また『送信儿』として「ある情報を伝える、知らせる」との意味があります。日中両国語では全く意味が違っており、従って中国人が若し日本語の「通信機」という字を見た場合に、『通信机械』と了解して手紙を届ける機械（即ちロボット）と誤解するかも知れません。

日本語の「送信」の用例は、「私は彼女にファックスを送信した」が『我给她拍发传真了」、「彼は私の携帯電話にメールを送信して来た」が『他给我的手机送电子邮件（短信）来了』などです。なお有線無線による電信の送信を『拍发』や『播送』、電波を

送ることを『发射』といっており、「機密電を送信する」が『拍发机密电报』となります。参考までながら「通信アンテナ」を『发射天线』、「通信局」を『发射台』又は『播送局』といっています。

中国語の「手紙を出す」との意味の『送信』の用例は、『我到邮局去送一封信』が「私は郵便局へ行って手紙を出します」であり、『送信的』は「郵便配達人」のことです。「情報を知らせる、伝える」の『送信儿』の場合は、『明天我给他送信儿』が「明日私が彼に知らせを持って行く」であり、『他给我送个信儿、会不开了』が「会議が取りやめになったと彼が伝えてきた」となります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３６回）
「後生」

日本語の「後生」は２つの読み方があり「ごしょう」と「こうせい」です。「ごしょう」と読んだ場合は、「後生を願う」というように死後再び生まれ変わること、即ち来世の極楽往生を願うことであり、「こうせい」と読んだ場合は、後から生まれた人や後から学んだ人、そして後から生じることを意味しています。

よく使われる「ごしょう」は「お寺参りをして後生を願う」との言い方で、「こうせい」の方は「後生畏るべし」との言い方です。また「切実に後生を願う」との意味から転じて「哀願する」との意味が出来、「後生だから」との前言葉を使って折り入ってお願いをする、哀願する場合に使われます。

用例としては「お寺参りをして後生を願う」は中国語で『拜佛祈求来生』であり、また「後生の安楽を願う」が『求得死后安宁』です。「後生だから」と哀願する場合は『求求』が使われ、「後生だから今回だけは見逃して下さい」が『求求您高抬贵手放了我吧』、「後生だから先生には言わないでね」が『求求你千万别告訴老師吧』と表現されます。一方「こうせい」と読む「後生」は一般的には余り使わておらず、中国から来た「後生畏るべし」、即ち『后生可畏』くらいです。

「後生」の特別な使い方として「後生大事」があります。これは非常に大切にしていることを意味しており、中国語で『很重视』や『极珍惜』がこれに当ります。用例としては「後生大事にする」が『极其重视、当作命根子』、「彼は私があげたお守りを後生大事に持ってくれている」が『他总是把我给他的护身符带在他的身边』です。

他方中国語の『后生』は「若者」や「後進者」そして「若々しい」の使い方をします。前述の『后生可畏』は「後進者」即ち「後輩は先輩をしのぐ力を持っている」との意味です。その他『那后生真能干』が「その若者は仕事がよく出来る」、『大家都夸他是个好后生』が「皆が彼をよい若者だと褒めている」との意味で、また『那个人长得后生』が「あの人は若々しい」、『那位先生虽然六十出头了、可长得很后生』が

「あの方は既に６０歳を越えたが、たいへん若く見える」です。日本語と中国語では「後生」の使い方がだいぶ違います。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３７回）
「仰天」

日本語の「仰天」は驚いて天を仰ぐとの形容で、通常「びっくり仰天」との表現で非常に驚く様子を表しています。もちろん「天を仰ぐ」との意味はありますが、その場合に「仰天する」とは決して言いません。あくまで「仰いで天を見る」とか「天を仰いで嘆息する」との表現します。

「びっくりする」の中国語は『吃惊』や『吓一跳』で、「びっくり仰天する」は『大吃一惊』や『吓得目瞪口呆』となります。用例としては「びっくり仰天して言葉も出ない」が『吓得连话都说不出来』であり、そして『吓得目瞪口呆』も同じ意味で使われます。また「彼のあの厚かましさにはびっくり仰天した」が『他那种厚颜无耻的态度、令人大吃一惊了』、「そのニュースに我々はびっくり仰天した」が『这消息让我们吃了一惊』です。

中国語の『仰天』には驚く意味は全くありません。そのままの「天を仰ぐ」との意味です。前出の『仰天叹息』が「天を仰いで嘆息する」ですが、「仰いで天を見る」の場合は『仰望天空』となります。ただ身体をのけぞらせて天を仰ぐ形から『他一听了那个话、仰天大笑了』との表現があり、これは「彼はその話を聞いたとたんに身体をのけぞらせて大笑いした」との意味です。日本語の「びっくり仰天」は非常に驚いた時に「ええっ」と必ず身体をのけぞらすので、そこから来たのかも知れません。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１３８回）
「上手」

日本語の「上手」には、「じょうず」、「かみて」そして「うわて」の３ッの読み方がありそれぞれ意味が違います。先ず「じょうず」と言った場合は技術が巧みな場合や能力が優れている場合、そしてなす事が得意な場合に使われます。更に「じょうず」には「お上手」と言ってお世辞をいう場合にも使われます。

「じょうず」の用例としては、「中国語が上手になりたい」が『我要学好中文』、「彼女はピアノが上手だ」が『她弹钢琴弹得很好』、「彼は釣りが上手だ」が『他是钓鱼的能手』、「彼女はダンスが上手だ」が『她擅长跳舞』、「彼は何でも上手だ」が

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

『他干什么都棒、是多面手』、「妻は話上手で、夫は聞き上手だ」が「妻子很会说话、丈夫很会听话』、「パンダは木登りが上手だ」が『大熊猫擅于爬树』です。慣用句としての「上手の手から水が洩れる」は『智者千虑、必有一失』ですが、一般的な表現をすると『高明的人有時也会失手』となります。また「上手の猫が爪を隠す」は『真人不露相』で、「じょうず」と使う場合はそれぞれそのケースによって中国語では異なった表現となります。

また「お上手」というお世辞の表現について、中国語で口がうまい事を『会说话』や『会奉承』、お世辞を『奉承的話』や『恭维的话』といいます。「上司にお上手を言う」が『对上司说些恭维的话』、「まあ！　お上手ですね」が『哎呀！ 您真会说话』となります。なお俗語でお世辞をいうことを『拍马屁』といい、「お世辞者」は『会拍马屁的』です

「かみて」と発音する「上手」には「川の上手」や「上手に座る」とか「トランプを私の上手から開始する」との表現もあります。「川の上手」が『河川的上游』、客は上手に座る」が『客人坐在上座』、「トランプを私の上手から開始した」が『从我的上手开始打牌』で、これは中国語も同じ使い方をしています。

「うわて」と発音する「上手」は「技能や能力が自分より上手な人」があり、運動面の使い方として「相撲の組み手の上手を取るとか上手投げ」や「野球の上手投げ」があります。また相手に対して高飛車に出る「相手の上手に出る」との表現もあります。技能や能力が自分より上であることを表現する用例は「彼の方が私より一枚上手だ」が『他比我高一筹』、「テニスは私が君より一枚上手（うわて）だが、野球は君が本当に上手（じょうず）だ」が『打网球我比你高一筹、但打棒球你真是拿手的』となります。また高飛車に出る例としては「相手に対して高飛車に出る」が『盛气凌人的态度对待对方』、「相手が弱いとみると彼は急に上手に出る」が『看出对方软弱、他马上就采取盛气凌人的态度』です。

他方中国語の『上手』はどのように使われているかの説明です。日本語と同じ使われ方をするのは「かみて」と読む場合だけで、トランプや麻雀で自分の前に牌を打つ『上手』です。一般的に中国語の『上手』は「始める、開始する」との意味と「手を出す、殴る」との意味です。用例としては『今天的工作、一上手很順利了』が「今日の仕事は初めからたいへん順調だった」、『他一上手、大家都跑了』が「彼が手を出すと皆逃げ出した」などです。日本語の読み方が３ッもあるので説明が非常に多岐に亘ってしまいました。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１３９回）

「下手」

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

今回は日本語の「下手」です。「下手」は「上手」に対応して、これも「へた」、「したて」。「しもて」の３ッの読み方があり、それぞれ意味が違います。「へた」と読む「下手」には、「上手」の反対の「私は泳ぎが下手だ」との表現以外に「下手な考え休むに似たり」という中途半端な場合の表現や「下手に口を出すと逆恨みされる」との「うっかり」した場合に使われる表現があります。

上手ではない用例としては「私は泳ぎが下手だ」が『我不擅长游泳』、「日本人は自己表現が下手だと言われている」が『一般认为日本人不擅于表达自己』、「私のゴルフは下手の横好きだ」が『我的高尔夫球水平很差、却非常喜欢』、「帰国してから中国語を話す機会がなく中国語が下手になった」が『回国以后没有机会讲汉语、我的汉语退步了』、「彼女は料理が実に下手だ」が『她做菜确实不行』、「彼は口下手である」が『他是个口齿拙笨人』などです。また慣用句の「下手の道具選び」は『技术不好怨工具』、「下手の横好き」が『虽然笨手笨脚、还力求做得好』、また「下手の長談義」は『废话连篇』或いは『又臭又长的讲话』といいます。この『又臭又长』の出典は『懒婆娘的裹脚条子、又臭又长』で、これは「怠け婆さんの纏足用の布は臭くて長い」です。これに関連した『裹脚条子理』という言葉もあり、これは「長々しくて碌でもない理屈」との意味です。

中途半端な場合の「下手」の用例は「下手な考え休むに似たり」が『笨人出主意浪费时间』或いは『笨人想不出好主意来』、「下手なダイエットはリバウンドを招く」が『减肥不当、会造成体重反弹』、「アルバイトの方が下手なサラリーマンより稼ぎがよい場合がある」が『做臨时工、有時比差劲的公司职员赚的钱还多』です。

「うっかり」した場合に使われる例は「下手に口を出すと逆恨みされる」が『随便去干涉、反而让人怨恨的』、「下手をするとチャンスを逃がす」が『弄不好的话、会丢掉机会』、「下手に手を出せない」が『不能冒冒失失地插手』或いは『不可轻举妄动』、「この件については下手に口出しをしない方がよい」が『关于这件事、还是别瞎表态好』などです。「へた」と読む「下手」の場合はその使われ方によって中国語の表現が皆異なってきます。

「したて」と読む「下手」はへりくだった態度を取る場合や他の人より地位や能力が低い場合に使われ、用例は「彼はいつも下手に居る」が「他总是那么谦虚』、「今回何故彼に対し私が下手に出ないと駄目なのか」が『这次为什么非得我给他低头』、「こちらが下手に出ると、あいつは必ず付け上がる」が『我越谦虚、他越拿架子』などです。

また「しもて」と読む「下手」は「トランプを私の下手から開始する」の場合は「上手」と同じく中国語も『下手』が使われます。また「私は彼の下手に座る」の場合は『我坐在他的下家』、「学校はこの川の下手にある」が『学校在这条河的下游』、「下手から攻撃する」が『从下边进攻』です。

さて中国語の『下手』は一般的に「手を下す」や「着手する」との意味であり、また『下手儿』とした場合に「下働きをする」や「助手をする」との意味があります。

用例としては『先下手为強』が「先手必勝」、『问题成堆、无从下手』が「問題山積で手のつけようがない」です。また『下手儿』の例は『打下手儿』が「下働きをする」、『我的妹妹作我妻子的下手儿、帮助餐厅的工作』が「私の妹が妻の助手となって食堂の仕事を手伝っている」です。今回も「下手」に３つの読み方があるため説明が非常に長くなりました。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４０回）
「心眼」

日本語の「心眼」は、我々の目に見える「肉眼」に対し、「心眼に映じる」との言葉の通り物事の真相や要点をはっきり判断する鋭い心の働き、即ち「洞察力」を意味しています。「彼の腹の内のいきさつは手にとる様に我が輩の心眼に映る」と漱石の猫が言ったそうですが、これを中国語に訳すと『他在内心妄想的经过、好想我在手里一个一个拿起来一样、明显地映入在眼帘』となるのでしょうか。日本語の「心眼」は中国語で『慧眼』や『心窍』で表現され、「心眼を開いて現状を見よ」が『睁开慧眼看看现状吧』、「彼の話が私の心眼を開いてくれた」が『他的打话开了我的心窍』となります。

中国語は『心眼』ではなく『心眼儿』といい、心の中のいろいろな動きを表現しています。日本語の５ッの意味を表現しており、１番目は「心の底から、本心で」との意味で、用例として『我打心眼儿里喜欢她』が「私は心の底から（本心で）彼女が好きだ」、『你说的话到我心眼儿去了』が「貴方の話は正に図星だった（私の本心を打った）」です。２番目は「心根、気立て」の意味で、『那人心眼儿挺好、就是嘴不饶人』が「あの人は心根はよいが、口が悪い」、『那人心眼儿好、跟他过一辈子没错』が「あの人は気立てがよいので、一生一緒にいても間違いがない」です。また『没安好心眼儿』が「碌な事を考えていない」、『心眼儿坏』が「心根が悪い」の意味ですが、この２ッは共に「腹黒い」ことを表現しています。

３番目は「気が利く、機転が利く、才覚がある」との意味で、『他有心眼儿、交给他没什么问题』が「彼は気が利くから、任せても何の問題もない」、『哥儿仨就数他有心眼儿』が「兄弟３人のうち彼が一番機転が利く」、そして『有心眼儿』が「才覚がある」との意味です。４番目は他人に対する「配慮や気遣いが多い、いらぬ心配をする」を意味しており、『他人不错、就是心眼儿多』が「彼はいい人なんだが、他の人への気遣いが多すぎる」、『他心眼儿太多、不好交』が「彼は気を回す人だから付き合いにくい」です。５番目は「気が小さい、気が弱い」との意味です。『他心眼儿窄、遇事想不开』が「彼は気が弱くて何事にもくよくよする」、『一般说女人比男人心眼儿小』が「一般的に言って女性は男性より気が小さい」などです。なお一般的に

は「気が大きい」は『大方、气量大、胸襟磊落』と表現し、「気が小さい」は『小气、器量小、胸襟狭小』と表現します。

日本語の「心眼」と中国語の『心眼儿』のいずれも「心」や「気」に関連した言葉ですが、日本語の方は「見分ける力、洞察力」であり、中国語の方は「内心、心根、気立て、気が小さい等」の心の動きを意味しています。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４１回）
「利害」

日本語の「利害」は「利益と損害」の意味で、「利害損得」又は「利害得失」という表現がありますが、「利害得失」の方が中国語と同じ表現です。従って「利益と損害」との意味では日本語と中国語は同じです。

日本語の「両者の利害が一致する」が中国語で『双方的利害一致』であり、「我々は密接な利害関係がある」が『我们在切身的利害关系』、「利害にこだわる」が『计较利害得失』となります。この場合の『利害』は両方の字とも四声で『＼＼』とはっきり発音しなければなりません。

さて中国語の『利害』にはこれとは別に（１）堪らない、ひどい、激しい、（２）恐ろしい、怖い、すごみがある、そして名詞として（３）ひどい、手荒いの意味があります。この場合の『利害』は『＼・』と四声・軽声で発音し、『厉害』と全く同じ使われ方をします。

（１）のケースは『動詞＋得＋利害』並びに『形容詞＋得＋利害』の形式をとり、『这两天热得利害（この２・３日の暑さときたらひどいものだ)』、『头痛得很利害（頭が痛くて堪らない)』となります。

（２）のケースは『那个人好利害啊（あの人は恐ろしい人だ)』、『他爸爸利害、咱们不敢不听话（彼の親父は怖い人だから、私たちは彼の言うことを聞かない訳にはいかない)』、『这一着棋、十分利害（この一手は非常に厳しい)』などです。

（３）のケースの名詞の場合の用例は、『这家伙太狡猾、得给他利害（こいつはたいへんずるがしこい奴だから、ひどい目に合わせてやらねばならない)』、『给你个利害看看（お前を痛い目に遭わせてやるぞ)』などです。

『利害』と『厉害』が同じ発音としても、全く同じ意味に使われるのは非常に面白いところです。『害』を軽声で発音するところから、初めに発音ありきだったかも知れません、

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４２回）
「明白」

広辞苑を見るとこれは哲学語で「概念の内容が一つ一つはっきりしていなくても、それの対象を他の対象からはっきり区別するたけの明白さをもつ概念についての語」とありますので、「明白」とは「疑う余地のない程はっきりしていること」を意味しています。

従ってこの点では日本語も中国語も全く同じであり、日本語で「明白である、明確である、はっきりしている」との場合は、中国語でも『明白』を使います。用例としては、日本語の「彼は自分の希望を明白に話した」が『他明白说出自己的希望』であり、「先生は明確に説明しているのに、君はどうして分からないんだ」が『老師讲得很明白了、你怎么不懂』、「彼女は今日来ないとはっきり私に言った」が『她明白地告诉我、今天不来』があります。

中国語の『明白』にはこれ以外に、（１）分かる、理解する、はっきり知る、並びに（２）物分かりがいい、話が分かるとの意味があります。我々日本人にとっては、この（１）の「分かる、理解する、はっきり知る」が非常に身近な言葉で。用例としては、『我的话、你明白了么？（私の話が分かったか？)』、『他嘴上不说、但在心里明白了（彼は口では言わないが、心の中で理解してくれた)』、『每个人都必須明自己的责任（各自が自分の責任をはっきり知らなければならない)』などです。

（２）の「物分かりがいい、話が分かる」の用例は『他是个明白人、请放心吧（彼は物分かりがよいので、ご安心下さい)』、『他是个明白人、不用多说就知道（彼は話が分かる人なので、ちょっと説明すればよく分かる)』です。この『明白人』は、日本語の「物分かりがよい人、話が分かる人、利口な人」に対応しています。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４３回）
「親友」

「親友」という言葉は日本語と中国語がどのような言葉を漢字２字に短めたのかの面白い例です。日本語は「親しい友人」を短めて「親友」とし、中国語は『亲戚与友人』を短めて『亲友』としました。中国語で友だちを『朋友』と言いますが、これは話し言葉や通常の文章での表現で、かたい表現では『友人』といいます。

ただ日本語の「親友」は単なる親しい友だちと言うより、心を開いて親しい交わりのある友だちを意味しており、広辞苑では「信頼が出来る親しい友」と表現しています。日本語で「親しい友人」という場合の中国語は『好朋友』又は『好友』であり、「親友」という場合には『知心朋友』『知交』『最要好的朋友』との表現になるでし

ょう。なお「気が合った友人」や「気心の知れた友人」としては『执友』という表現があります。

日本語の「親友」の用例としては、「我々二人は親友の間柄だ」が中国語で『我们俩是知交关系』、「彼は私の無二の親友だ」が『他是我唯一的知心朋友』です。

中国語の『亲友』の用例は、『很多亲友参加了她的婚礼（たくさんの親戚と友人が彼女の結婚式に参加した)』、『他这次回乡、会见了很多亲友（彼は今回故郷に戻ってたくさんの親戚や友人と会うことが出来た)』であり、また『他是我的执友』が「彼は私の気心の知れた友だちです」となります。

なお『老朋友』という言葉がありますが、これは決して日本語の「親友」との意味ではなく、日本語でいう「古い友だち」又は「長年の友人」という程度の意味です。

・

・

・

中国語で誤解しないように（第１４４回）

「生気」

今回は「生気」です。日本語の「生気」は「生き生きとした気力、活力」を意味しています。この「生き生きとした気力」を中国語では『生气』又は『朝气』といいます。従って「生き生きとした気力」や「活力」の場合は、中国語も日本語と同じ表現をします。

日本語の「生気」の用例は、「生気があふれる」や「生気はつらつとしている」が『生气勃勃』或いは『朝气蓬勃』であり、「雨で植物が生気を取り戻した」が『下起了雨、植物恢复了生气』です。なお「生気がない」は『没生气』や『没朝气』と表現出来ますが、「生気のない顔つき」或いは「しょぼくれた顔つき」という場合には、『毫无精神的相貌』或いは『无精打采的相貌』との表現があります。

なお中国語の『生气』には、「怒る」や「腹が立つ」との意味があります。用例としては、『我也不知道、为什么他生我的气（彼が何で私の事を怒っているのか、私にも分からない)』、『你还生他的气吗？（君はまだ彼のことを怒っているのか)』、『他是个好生气的（彼はかんしゃく持ちだ)』などです。この『气』には「怒り」や「しゃくに触る」という気持ちがあるようで、『动真气』は「本気で怒る」であり、『气坏了』が「しゃくに触ってたまらない」、『气疯了』が「しゃくに触って気が狂った」との使われ方をしています。

『生气』と似た言葉として『生机』があります。『生机』にも『生气』と同じ「生気」や「活力」の意味がありますが、『生机』の本来的な意味が「生きる機会、生きる望み」なので、「生気を取り戻した」は『恢复了生气』と併せて『恢复了生机』との表現が出来、また「生気を与える」は『赋予生机』となります。

・

・
・

中国語で誤解しないように（第１４５回）
「対象」

「対象」は広辞苑に「意思などの意識作用が向けられる当のもの、物的、心的、実在的、観念的なあらゆるものが対象となりうる」と定義されています。従って主体や主観の相手である客体や客観の全てを「対象」と表現することが出来ます。

何でこんな面倒な説明を最初に持ってきたかというと、中国語で「恋人」や「婚約者」のことを、即ち結婚を前提として付き合っている相手のことを、性別にかかわらず『对象』と表現しているからです。

従って「恋愛する」も『搞对象』と表現しており、『她是我的对象（彼女は私の恋人です)』と言うように、現在の中国では「恋人」のことを『对象』と表現するのが当たり前になっています。広辞苑にある「対象」の定義を幅広く解釈すると、確かに「恋人」は『对象』の範疇に入るのだなと思われてきます。

解放前の中国では親が決めた相手と結婚するのが常識であり、恋愛結婚は常識の範疇にはなかったので、「恋人」のことを『情人』或いは『意中人』と表現していたようです。それが新しい中国になって結婚相手を自由意思で選べるようになり、恋をした相手を「結婚を対象とした相手」とのことから、「恋人」のことを『对象』と表現するようになったものと思われます。

然しこれ以外の「対象」は日本語も中国語も全く同じであり、『发音是语言学的研究对象之一（発音は言語学の対象の一つである）や『这次精简对象是老弱病残（今回の人員整理は年より、弱いもの、病人、身障者を対象としたものである)』、そして『这是面向女性的杂志（この本は女性を対象とした雑誌だ)』のように、同じ使い方をしています。

なお『找对象』が「結婚相手を探す」、『介绍对象』が「結婚相手を紹介する」のように、『搞对象』でない場合には、『对象』を日本語では「恋人」ではなく、「結婚相手」と表現することになります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４６回）
「錯誤」

広辞苑で「錯誤」は「誤り、間違い」と「事実と観念が一致しないこと」の２ッが記載されています。然し現在日本では「錯誤」は「錯覚による誤り」との認識で「事実と観念が一致しない」との方のみが使われています。「誤り、間違い」は旧い文章

では使われていたとの説明であり、昔の文章では中国語の「誤り、間違い」と同じ使い方もしていたようです。

日本語の「錯誤」は、「そんなことを言うのは時代錯誤も甚だしい」とか「彼は試行錯誤を繰り返している」との場合に使われ、これは中国語で『那种说法太不符合现实了』や『他反复地进行着尝试和模索』と表現します。

一方中国語の『错误』は「誤り、間違い」や「過失、過ち」の意味を持っており、日本語の「錯覚による誤り」、即ち事実と観念或いは認識が一致しないことに使うことはありません。

「誤り、間違い」の用例としては『你不要那么坚持错误了（そんなに意固地になるなよ)』や『这种错误的论断、搞乱了不少人的思想（この様な間違った論断は、少なからず人の考えを混乱させた)』であり、「過失、過ち」の用例は『他犯了严重的错误（彼は重大な過失を犯した)』、『他不改自己的错误、还要说别人不对（彼は自分の過ちを棚に上げて人のせいにしている)』などです。

「錯」という字は（１）「誤り、まちがい」と（２）「一致しない」の他に（３）「混じる、入り混じる」などいろいろな意味を持っています。（１）には「錯誤、錯謬、錯覚」などがあり、中国語の口語文や日本語の古文の「錯誤」はこの範疇です。一方（２）の「錯誤」が日本語の一般的に使われる「錯誤」です。その他（３）には「錯綜、錯乱」などがあります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４７回）
「地盤」

「地盤」の日本語には、（１）地盤が固い、地盤が緩むという「地盤」、（２）建築物の基礎となる用地や敷地としての「地盤」、そして（３）選挙ややくざの縄張りとなる「地盤」の３ッの意味があります。

（１）の用例としては「この辺は地盤が緩いから地震の時は非常に危険だ」、「地盤が沈下したので住民は学校へ避難している」があり、これを中国語では『这一带地基松软、地震的时候很危险』、『由于地壳下沉、周围的居民们都到附近的小学校去避难』と表現し、「地盤」を『地基』や『地壳』で表します。（２）の用例としては、「ここの地盤は固いから工場用地としては最適だ」、「雨は止んだが、まだ地盤は濡れてぬかっている」があり、中国語で『由于地基坚固、适于场地』、『雨停了、但地面还没干、是泥泞的』など、「地盤」を『地基』『地面』で表現します。なお「地盤沈下」は『地壳下沉』と併せて『地表下沉』と『地表』も使われます。

この様に（１）と（２）の場合の「地盤」を中国語では『地基』『地壳』『地皮』と表現しています。一方（３）の選挙の場合の「地盤」や中国の昔の軍閥や日本のや

くざが持っている縄張り、即ち特定の人や団体が押さえている勢力範囲を表現する「地盤」のみに中国語では『地盘』を使います。

用例としては「彼は今回農村を地盤として立候補した」、「軍閥はお互いに縄張りを争う」を中国語で『他这次以农村为地盘参加了竞选』、『军阀们互相争夺地盘』などです。従ってやくざが「ここは俺のしまだ、さっさと出て行け」と言う場合も『这个地方是我的地盘儿、赶快滚出去』となります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４８回）
「協調」

「協調」の日本語は「利害の対立する者同士がおだやかに譲り合って相互間の問題解決を図る」ことを意味しており、一方中国語の『协调』は「釣合いが取れている、バランスがよい、調和している」との意味で、全く使い方が異なっています。

日本語の用例としては、「労使双方が協調的な態度で話し合いをする」や「日中双方が協調してその問題を解決した」を中国語で『劳资双方以协商的态度进行讨论』、『中日双方把那个问题协商解决了』と「協調」に『协商』を使い、また「お互いに個人的な利害を捨てて協調する」、「この会社での労使協調は全く不可能である」を中国語で『互相抛弃个人的利害、进行合作』や『这个公司的劳资合作是完全不可能的』と「協調」に『合作』を使って表現します。

一方中国語の『协调』の用例としては、『这个国家的进出口不协调（この国の輸出入は釣合いが取れていない、バランスが取れていない）』、『工农业的发展必须互相协调（工農業の発展は相互にバランスが取れていなければならない）』、『体操运动员的动作是协调优美的（体操選手の動作はバランスが取れて優美である）』です。また『使我们的行动协调起来（我々の行動の歩調を合わせる）』の例のように「歩調が合う、歩調を合わせる」場合にも『协调』で表現することが出来ます。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１４９回）
「人家」

「人家」といったら日本語で「人が住む家」の意味しかありません。中国語でも同じ「人が住む家」との意味がありますが、これは昔の表現で現在では全く異なった使われ方をしています。唐の詩人：杜牧の『山行』の一節に『白云深处有人家（白雲深き処に人家あり）』がその例です。従って日本語の「人家」は昔中国から漢字を導入

した時代の表現がそのまま残っている例の一つと言えます。

日本語の「人家」の用例としては、「その地方は人家がまばらだ」や「トラックが人家に突っ込んだ」を中国語で『那个地方人烟稀少』や『一辆卡车撞进了民宅』で表現します。また「人家が密集している」は『住宅密集』と表現出来ます。

扨て中国の『人家』は人称代名詞或いは人称代名詞的な使い方であり、（１）他の人、よそさま、皆、他の皆様」、（２）彼、あの人、あの人達（特定な人を指す）、（３）親しい間柄での私、話し手、（４）他人の家、人のお宅、（５）嫁ぎ先など、多岐に渉ります。

（１）の用例は『人家都能去、为什么我不能去（皆が行けるのに、どうして私が行けないのですか）』、『人家学得会的、我也一定学得会（よそさまが出来るなら、私も出来る筈だ）』、（２）の例は『别去打搅小李、人家明天要考试（李さんは明日試験があるから、邪魔をしてはいけませんよ）』、『人家有钱、咱不能跟人家比（あの人は金持ちだから、こちらとは比べものにならない）』、（３）の例は『你管自己的痛快、一点也不管人家（貴方は自分ばかり楽しんで、人のことなんかちっとも構ってくれない）』、『人家挺着急的、他倒好像没事似的（こちらは心配でいらいらしているのに、向こうはけろりとしている）』、（４）の例は『这是一戸勤俭人家（この家の人たちは皆勤勉である）』、『这戸人家有三个儿子（このお宅には３人の息子がいる）』、（５）她已经有人家了（彼女はもう嫁ぎ先が決まっている）』、『她已経三十、还没定了个人家（彼女はもう３０なのに、まだ婚約もしていない）』などです。
こんなに多岐に渉る使い方をする中国語も非常に面白いと思います。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第１５０回）
「根本」

「根本」は「ねもと」と「こんぽん」の２ッの発音があります。「ねもと」という場合は「草木の根」のことであり、「こんぽん」という場合は草木の根、特に大木を支える根から転じて「ある物事の大本を支える基本となるもの」を意味ます。

日本語の用例として、「あの二人の考え方は根本的に異なっている（那两个人的想法是根本不同的）」、「その件は根本的に考え直す必要がある（那件事有必要根本上重新考虑）」、「その理論は根本から誤っている（那个理论从根本上就错了）」などで、この場合は日本語も中国語も「根本」『根本』で同じです。

なお「根本的な」と形容詞句として使う「根本的な問題（根本性问题）」「根本的な原因（根本原因）」「根本的な原則（根本原则）」の場合も同じ範疇と言えます。
然し副詞句として使う「根本的に」の場合は「根本的に改める（彻底改变）」や「根本的に調査する（彻底进行调查）」の如く『彻底』の方がよりよく日本語の意味を表

第 101 回　2008 年 7 月 1 日

現出来る次第です。

　また基本的に同じ意味ですが、中国語で「大本を支える基本となるもの」を表現する際に『根源』『基础』で表現する場合があります。「根本に溯る（溯本求源）」、「健康は幸福の根本である（健康是幸福的根源）」、「根本が出来ていない（基础没打好、基础没扎实）」などがその例です。

　扨て中国語で『根本』を使用する日本語と全く異なる点は、否定文に用いる「まったく、全然、初めから」との副詞句の場合です。用例としては『他根本没想过这个问题（彼はこの問題をまったく考えたことがなかった）』、『根本没有这样的事（そんな事は全然ない）』、『他根本不听了别人的劝告（彼は初めから他の人の忠告に対して聞く耳を持たなかった）』などです。

・

・

・